

LINN

日本語



UNIDISK SC PLAYER

オーナーズマニュアル

安全に関する重要事項

製品のリアパネルまたは底面に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるので注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

注 意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警 告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。感電の危険があり。一 開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店で求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑／黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。

安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがないでください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ (アンプを含む) などの熱を発する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。
15. 壁や天井への取付：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. 電源：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. 電源プラグ：本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ (該当する場合) を使用してください。
18. 電線：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. 屋外アンテナの接地：本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/NFPA 70 の810項を参照してください。
20. 電話線：本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. 異物や液体の混入：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
22. 火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。
23. 本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。

警 告

本機器はアースする必要があります。

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注 記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2004 Linn Products Ltd. First edition April 2004.

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow, G76 0EQ,
Scotland, United Kingdom.

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

Printed in the United Kingdom.

Linn (リン) および **Linn のロゴ** は、Linn Products Limited の登録商標です。
UNIDISK、**SILVER DISK ENGINE**、**CLASSIK**、**INTERSEK** および **KNEKT** は Linn Products Limited の商標です。

「DVD Logo」は DVD Format/Logo Licensing Corporation の商標です。

「DTS」および「DTS Digital Surround」は Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

Dolby Laboratories とのライセンス契約により生産。「Dolby」「Pro Logic」「double-D」のマークは、いずれも Dolby Laboratories の商標です。

すべての HDTV (高精細度テレビ) が本製品との完全な互換性を有するわけではありません。そのため、画面になんらかの像が現れる可能性があります。525 または 625 プログレッシブスキャン画像に問題がある場合は、標準 (STANDARD DEFINITION) 出力に接続を切り替えるようお奨めいたします。本製品とテレビ受像機との互換性については、販売店までお問い合わせください。

本製品には著作権保護技術が組み込まれており、Macrovision Corporation その他の所有になるアメリカ合衆国特許および他の知的財産権等により保護されています。この著作権保護技術の使用には、Macrovision Corporation による承認が必要であり、同社による承認なしには、家庭その他での限られた閲覧だけが意図されています。改造や分解は禁止されています。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

本製品の供給はライセンスを伴うものではなく、営利目的の放送システム (地上・衛星・ケーブルその他の放送チャンネル)、ストリーミングアプリケーション (インターネット、イントラネット、その他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配給システム (有料オーディオやオーディオオンデマンドなどのアプリケーションその他)、物理的な媒介 (CD、デジタル多用途ディスク、半導体チップ、ハードドライブ、メモリカードなど) において、本製品で作成されたコンテンツを配給する権利を与えるものでもありません。そのような用途には、そのための別のライセンスが必要です。詳しくはウェブページ <http://mp3licensing.com> をご覧ください。

MPEG Layer-3 オーディオ・コーデイング・テクノロジーは、Fraunhofer IIS and Thomson よりライセンス許可取得。

英国デザイン登録番号 : 3021660

目次		
はじめに	1	
ディスクの種類	1	ディスクの特定ポイントを探す
音声出力	1	早送り/早戻し (サーチ)
クリーニング	1	スキャン再生/逆再生
接 続	2	スロー再生/逆再生 (スローサーチ)
開 梱	2	スロースキャン再生/逆再生
電圧の選択	2	ダイレクトタイム選択
設 置	2	プログラムモードで再生する
背面パネル SCARTバージョン	3	ディスクの繰り返し再生
背面パネル フォノバージョン	4	チャプター/トラックの繰り返し再生
前面パネルとリモコン	5	セクションの繰り返し再生
前面パネル	5	シャッフルプログラム
リモコン	6	プログラム再生
リモコンモード	6	除外プログラム再生
スタンバイモード	7	DVD メニューを使う
映像出力	7	DVD その他の再生オプション
設定メニュー	7	言語と収録音声の選択
設定メニューについて	7	字幕
General Setup (一般設定)	9	アングル選択
Speaker Setup (スピーカー設定)	10	ズームとパン機能
Progressive Scan Setup (プログレッシブスキャン設定)	12	ビデオCDとスーパーVCDについて
HDMI Setup (HDMI設定)	12	その他のファイル形式
Video Source Setup (映像ソース設定)	13	ファイル繰り返し再生
Audio Setup (音声設定)	14	シャッフルプログラム
Preferences (お好み設定)	16	プログラム再生
ディスクの再生	18	サラウンドサウンドとオーディオモード
はじめに	18	プリアンプ
前面パネルのシンボル	18	音量とミュート
ディスク情報の表示	18	微調整
基本操作	19	バランスの調整
Super Audio CDの再生	20	外部入力 (AUX) の選択
ディスクのタイトル/グループ/チャプター/トラックの頭出し	20	ユーザーオプション
ダイレクトタイトル/グループ選択	20	ユーザーオプション設定の変更
次/前のチャプター/トラックの選択	21	ユーザーオプション一覧
ダイレクトチャプター/トラック選択	21	仕 様
ダイレクトトラック選択	21	保証とサービス
チャプター/トラックの繰り返し再生	21	

はじめに

UNIDISK SC プレイヤーは、サラウンド用のプロセッサとコントローラーを内蔵するきわめて精緻に設計されたハイファイ・オーディオ/ビデオソース機器です。最新のあらゆる高品位・高品質の音楽および映像フォーマットに対応するとともに、卓越したマルチチャンネル再生機能を備えています。

UNIDISK SC プレイヤーはリンが誇る SILVER DISK ENGINE テクノロジーを採用し、一般的なマルチ・フォーマットプレイヤーに見られるような信号処理ではなく、音声フォーマットを認識してその形式のまま信号を処理します。UNIDISK SC プレイヤーの地位を、妥協のないユニバーサルソースおよびコントロールコンポーネントとして確固なものとする精緻なデコード回路によって、CD、Super Audio CD (SACD)、DVD ビデオ、DVD オーディオはそれぞれ個別かつ最適に信号処理が行われます。

すべてのディスクフォーマットに対応するユニバーサルな再生機能を備えた高品位な製品こそが、ますます多様化する皆様のニーズを満たすものと私たちは信じます。音楽産業、映画産業がどのようなフォーマットを選んで提供するにしても、UNIDISK 製品は、幅広い適応力、際立ったパフォーマンス、優れた品質で、今後長い年月にわたって、信頼性の高い主流製品であり続けることでしょう。

ディスクの種類

UNIDISK SC は次のロゴのあるディスクに対応します。



さらに、UNIDISK SC は、主要なコピー防止機能付きオーディオディスク、MP3、MPEG-2、JPEG ファイルを収録したデータディスクも再生します。

重要事項

承認された規格のディスクすべてについて、国際的な互換性を確保するためにあらゆる努力を行っていますが、現在および将来市場に出るディスクすべてに対する本機器の完璧な作動を保証することは不可能です。弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在出回っている多くのディスクが自社の公表する仕様や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、**特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことはできません。**リン UNIDISK SC で再生できないディスクが他のプレイヤーで再生できたとしても、そのことはリン UNIDISK SC に欠陥

があるとするものではありません。再生に問題があるディスクの詳細については、多くのウェブサイトに掲載されていますから、本機器の性能に対して判断を下す前にこうした公表データを検討なさるようお願いいたします。リン UNIDISK SC の継続的な開発に役立てるという意味で疑わしいディスクの提示は歓迎いたしますが、エンドユーザーからのディスクの受領によって、そのようなディスクの再生方法を明らかにすることに関して何らかの保証を負うものではありません。

特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないでください。製品故障の原因になります。

音声出力

音声出力は次のディスクフォーマットと互換性があります。

ディスク形式	デジタル	アナログ
Super Audio CD	なし	As mix*/ステレオダウンミックス**
DVD オーディオ	なし	As mix*/ステレオダウンミックス**
DVD ビデオ (ドルビーサラウンドまたは DTS)	As mix*	As mix*/ステレオダウンミックス**
DVD ビデオ (ステレオ)	ステレオ	ステレオ/ドルビープロロジックII サラウンドエンコーディング
CD	ステレオ	ステレオ/ドルビープロロジックII サラウンドエンコーディング
DTS CD	As mix*	As mix*/ステレオダウンミックス**
ビデオ CD/スーパー CD	ステレオ	ステレオ

* 音源に含まれているのと同じ音声チャンネル数。

** マルチチャンネル音源を 2 チャンネルにダウンミックス可能。

クリーニング

クリーニングは本機の電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかいクロスで拭き取ってください。家庭用クリーナーなどのご使用はお控えください。

接 続

この項では、ご使用中のハイファイ／AVシステムにUNIDISK SCを接続する方法について説明します。

注記

本書における「ディスプレイ装置」には、プラズマスクリーン、プロジェクタ、プロジェクションテレビ、モニター、液晶テレビ、一般のテレビ受像機などが含まれます。

開 梱

製品には以下の付属品が同梱されています。

- リモコンとブックレット
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 電源コード
- 接続ケーブル (黒) 1組
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

電圧の選択

本機は自動電圧切り替え回路を内蔵しています。動作電圧範囲は世界各国の電圧に対応した100Vから240Vです。入力電圧を手動で調整することはできません。



本機器は必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

設 置

本機はたいていどんな場所にも手軽に置いていただけます。ただし、以下の点にご注意ください。

- 換気のため、本機の両側、後部、上部には少なくとも10cm程度の空間をとってください。
- 本機は室内のどこからでも操作が行なえますが、直射日光が当たる場所を避けて設置して下さい。

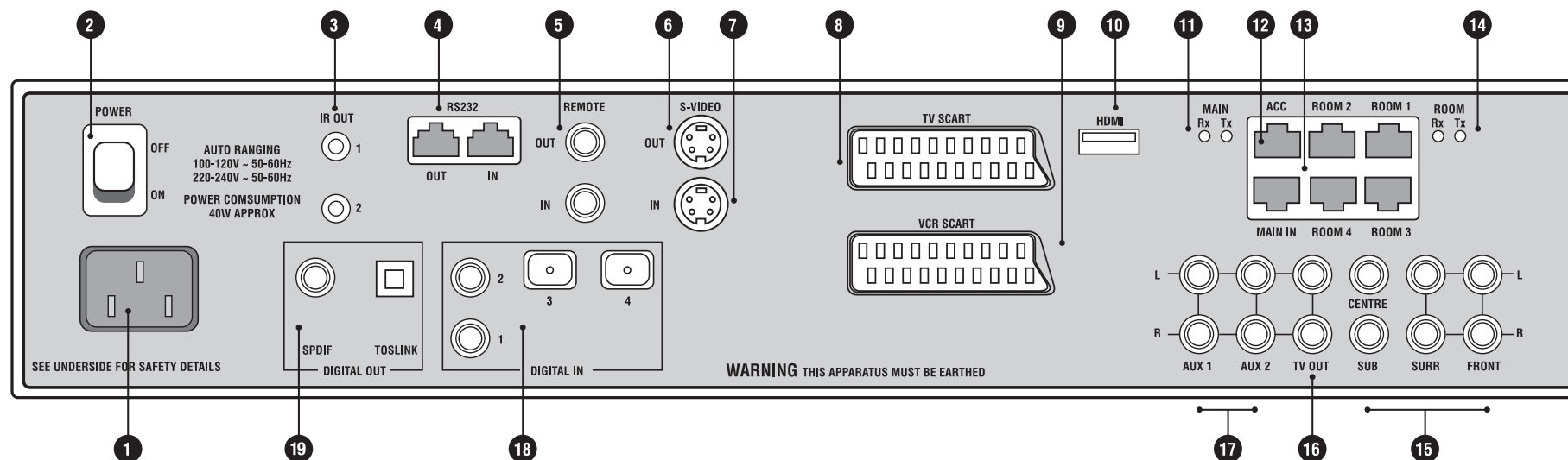
プラズマスクリーン、LCDスクリーンについての注意

プラズマスクリーンと大型LCDスクリーンは赤外線周波を発するため、放出された赤外線が本機のディスプレイに当たった場合、本機の赤外線によるリモートオペレーションに干渉する場合があります。本機を設置する際は、プラズマスクリーンまたはLCDスクリーンと向かい合わせにならないよう、また放出された赤外線が本機に直接当たらないようにご注意ください。通常、スクリーンの下または直接隣接する位置では、このような干渉を避けることができます。

重 要

ガラス戸の向こうに本体を置いた状態でディスクトレイを開けないようご注意ください。トレイのメカニズムを損なう原因になります。

背面パネル SCART バージョン



- 1 電源入力
- 2 電源スイッチ
- 3 IR OUT 1 と IR OUT 2 赤外線フラッシャー端子。
赤外線に対応した他のデバイスのリモコンから制御が可能。
- 4 RS232 IN / OUT PC やタッチスクリーン装置経由による操作。
- 5 REMOTE IN / OUT KNEKT システム内での接続用。
- 6 S-VIDEO OUT S 映像信号に対応するディスプレイ装置への接続用。
- 7 S-VIDEO IN S 映像信号出力を持つビデオデッキへの接続用。
- 8 TV SCART ディスプレイ装置の SCART 端子に接続。
コンポジット信号、RGB 信号、および 2 チャンネルのオーディオ信号で構成。
- 9 VCR SCART ビデオデッキの SCART 端子への接続用。
- 10 HDMI デジタル映像入力対応のディスプレイ装置への接続。
- 11 MAIN RX / TX KNEKT システムで機器間の送受信の状況を示すインジケータ。
- 12 ACC アクセサリー用端子。本機を KNEKT システムまたは赤外線リピーターに接続。
- 13 MAIN IN, ROOM 1 ~ 4 KNEKT システムで機器間のリンクに使用。
- 14 ROOM RX / TX KNEKT システムで機器間の送受信の状況を示すインジケータ。
- 15 ライン出力端子 パワーアンプおよびサブウーファーに接続するライン出力。
- 16 TV OUT ボリューム調整機能を備えたディスプレイ装置との接続、
または外部のプリアンプとの接続に使用するライン (固定) レベル出力。
- 17 AUX 1 / AUX 2 外部入力用アナログ入力端子。
- 18 デジタル入力 1 ~ 4 外部入力用のデジタル入力。SPDIF2 系統、TOSLINK2 系統。
- 19 デジタル出力 SPDIF と TOSLINK デジタル入力を備えた機器との接続用。

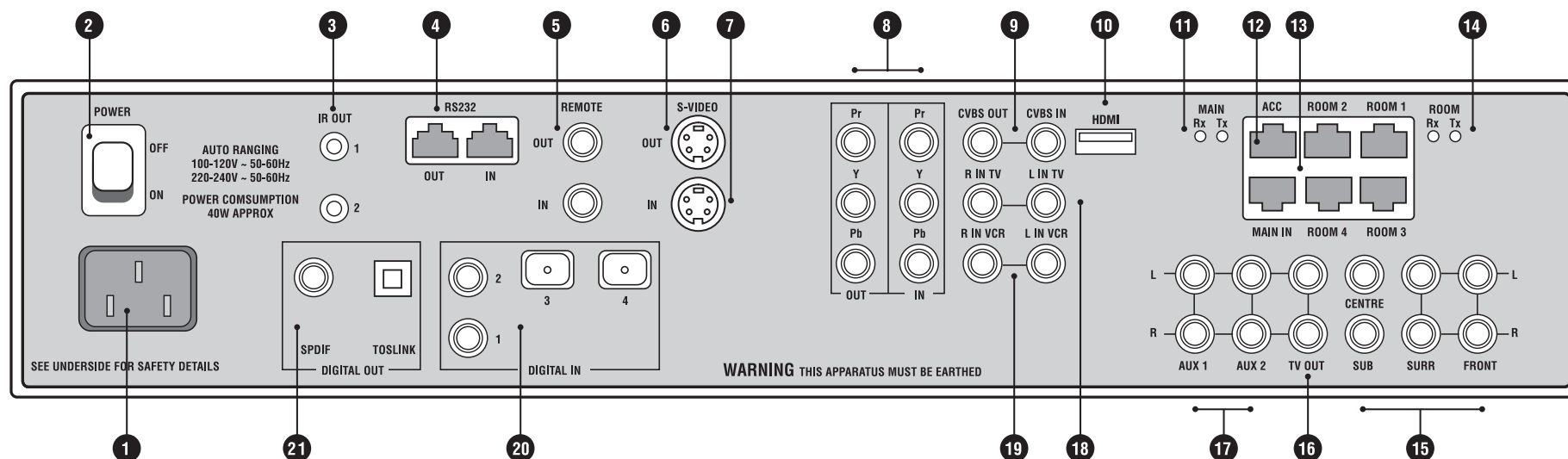
注記

Super Audio CD と DVD オーディオからの音声信号はアナログ出力のみとなります。これらのディスク形式については、デジタル出力はありません。



背面パネルへのケーブルの接続またはケーブルの取り外しを行う場合は、本機の電源コードをコンセントから抜いてください。これを行わないとサージが発生し、本機器や他の AV 機器に損傷を与える恐れがあります。

背面パネル フォノバージョン



- 1 電源入力
- 2 電源スイッチ
- 3 IR OUT 1 と IR OUT 2 赤外線フラッシャー端子。
赤外線に対応した他のデバイスのリモコンから制御が可能。
- 4 RS232 IN / OUT PC やタッチスクリーン装置経由による操作用。
- 5 REMOTE IN / OUT KNEKT システム内での接続用。
- 6 S-VIDEO OUT S 映像信号に対応するディスプレイ装置への接続用。
- 7 S-VIDEO IN S 映像信号出力を持つビデオデッキへの接続用。
- 8 YPrPb IN / YPrPb OUT コンポーネントのビデオ入力および出力。
- 9 CVBS IN / CVBS OUT コンポジットのビデオ入力および出力。
- 10 HDMI デジタル映像入力対応のディスプレイ装置への接続。
- 11 MAIN RX / TX KNEKT システムで機器間の送受信の状況を示すインジケータ。
- 12 ACC アクセサリー用端子。本機を KNEKT システムまたは赤外線リピーターに接続。
- 13 MAIN IN, ROOM 1 ~ 4 KNEKT システムで機器間のリンクに使用。

- 14 ROOM RX / TX KNEKT システムで機器間の送受信の状況を示すインジケータ。
- 15 ライン出力端子 パワーアンプおよびサブウーファーに接続するライン出力。
- 16 TV OUT ボリューム調整機能を備えたディスプレイ装置との接続、
または外部のプリアンプとの接続に使用するライン (固定) レベル出力。
- 17 AUX1 / AUX2 外部入力用アナログ入力端子。
- 18 R IN TV / L IN TV テレビの音声出力の接続用。
- 19 R IN VCR / L IN VCR ビデオデッキの音声出力の接続用。
- 20 デジタル入力 1 ~ 4 補助ソース用のデジタル入力。SPDIF2 系統、TOSLINK2 系統。
- 21 デジタル出力 SPDIF と TOSLINK デジタル入力を備えた機器との接続用。

注記

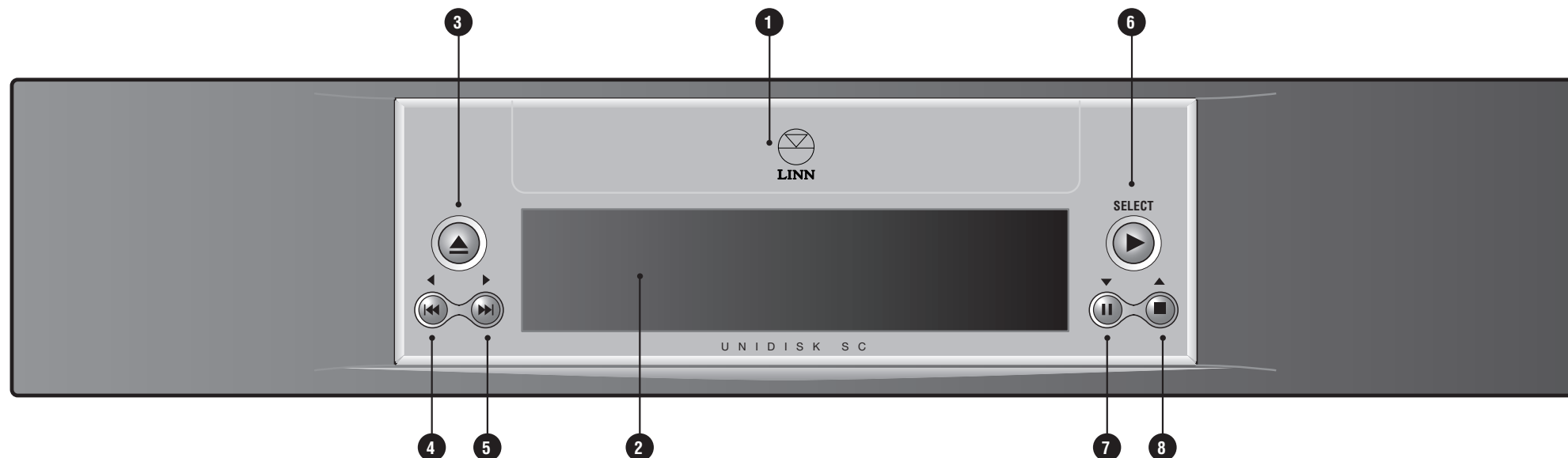
Super Audio CD や DVD オーディオからの音声信号はアナログ出力のみとなります。これらのディスク形式については、デジタル出力はありません。



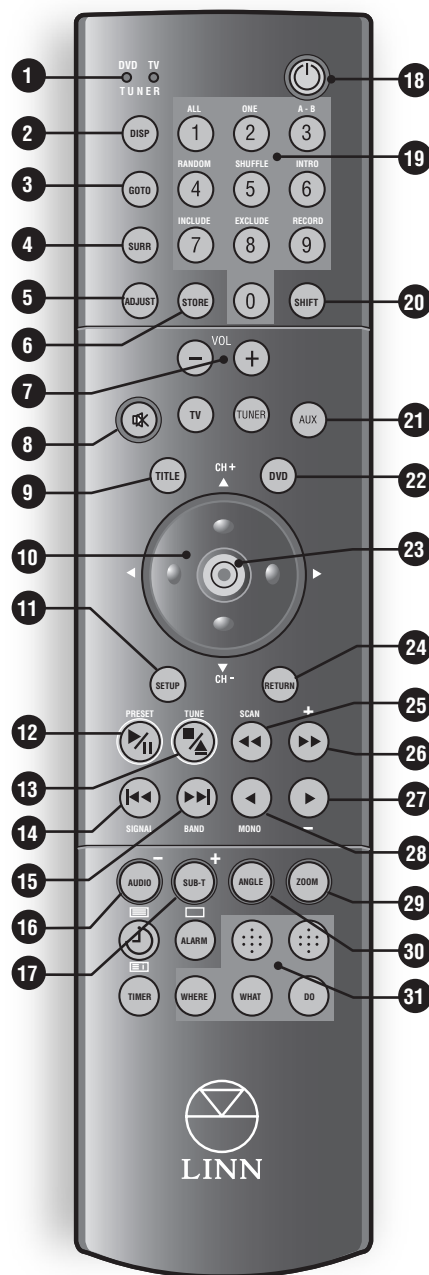
背面パネルへのケーブルの接続またはケーブルの取り外しを行う場合は、本機の電源コードをコンセントから抜いてください。これを行わないとサージが発生し、本機器や他の AV 機器に損傷を与える恐れがあります。

前面パネルとリモコン

前面パネル



- ① ディスクトレイ
- ② 前面パネルディスプレイ
- ③ ▲ ディスクトレイの開閉。
- ④ ⏮, ⏪ 早戻しスキップ/サーチ、メニュー内を左へ、音量を下げる。
- ⑤ ⏭, ⏩ 早送りスキップ/サーチ、またはメニューを左へ、音量を上げる。
- ⑥ ▶, SELECT 再生スタート、メニュー内で項目選択、スタンバイ状態にする、スタンバイ状態を解除する。
- ⑦ ⏸, ▼ 一時停止、メニュー内を下へ、ソースを変更する。
- ⑧ ■, ▲ 一時停止、メニュー内を上へ、ソースを変更する。



リモコン

- 1 **LED** リモコンから信号が送信されているときに点灯。
- 2 **DISP (ディスプレイ)** ディスク再生中に前面パネルの表示を時間表示に切り替え。また映像出力形式を選択。
- 3 **GOTO** ディスクの特定チャプター、トラック、タイトルあるいは時間ヘジャンプ。
- 4 **SURR** サラウンドサウンドフォーマットを選択します。
- 5 **ADJUST** プリアンプ機能にアクセスします。
- 6 **STORE** チャプター/トラックの繰り返し再生。プログラム再生モードと除外プログラム再生モードで使用。
- 7 **VOL - / +** 音量を調整します。
- 8 **🔇 (ミュート)** 音声のミュート (消音)/ミュート解除を切り替えます。
- 9 **TITLE** DVD ビデオまたはDVD オーディオのタイトルメニューを入力します。
- 10 **△ ▽ ◀ ▶** オンスクリーンメニューの項目を選び、設定を調整します。
- 11 **SETUP** オンスクリーン設定メニューの開始と終了。
- 12 **▶|| (再生/一時停止)** ディスクの再生または一時停止。
- 13 **■▲ (停止/トレイの開閉)** ディスクを停止。またはディスクトレイを開閉。
- 14 **◀◀** 前のチャプター/トラック選択
- 15 **▶▶** 次のチャプター/トラック選択
- 16 **AUDIO** DVD-V、DVD-Aの収録音声を選択します。Super Audio CDではレイヤーを選択します。
- 17 **SUB-T** DVDビデオの字幕を選択スクロールします。
- 18 **🔌 (standby)** スタンバイモードのオン/オフを切り替えます。
- 19 **数字0~9/シフト機能** 数字キー。特定の機能を利用するときに使用します。

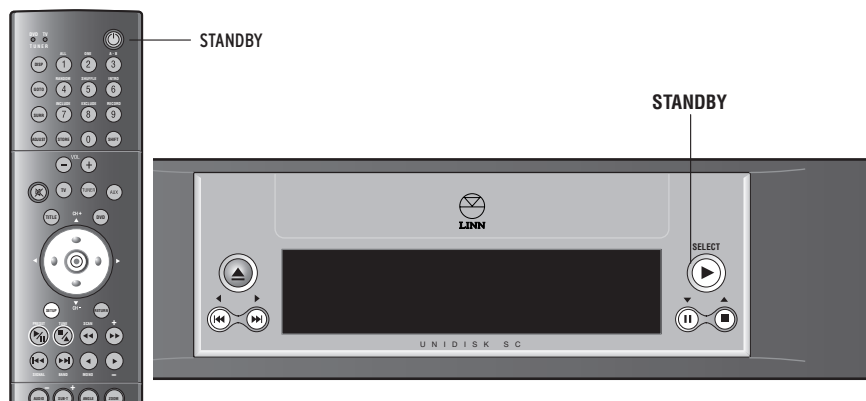
- 20 **SHIFT** 数字キーに割り当てられている機能にアクセスするときに押します。
- 21 **AUX** 外部入力/出力ソースを選択します。
- 22 **DVD** Disc (ディスク) モードに切り替えます。また、DVDでメインメニュー画面の選択に使用します。
- 23 **'enter'** 設定を確認します (前面パネルの**SELECT**キーと同機能)。
- 24 **RETURN** DVDメニューで上の階層へ戻ります。
- 25 **◀◀** 早戻し検索。
- 26 **▶▶** 早送り検索。
- 27 **▶** 早送りスキャン。
- 28 **◀** 早戻しスキャン。
- 29 **ZOOM** 画像を拡大。
- 30 **ANGLE** DVDのアングルを選択。
- 31 **KNEKT 機能** 本機をKNEKTシステムで使用するときに使います。

灰色で記載しているキー、および上記の説明に含まれていないキー操作は本機では使用しませんが、他のリン製品で 사용할 ことが あります。

リモコンモード

リモコンのソースキー (DVD、CD、TUNER、TV、AUX) を押すと、ソースが選択され、リモコンも選択したソースに対応したモードに切り替わります。リモコンボタンの機能は選択中のソースによって変わります。リモコンと本機で異なるソースが選択されている場合、リモコンのボタンを押しても本機を操作できないことがあります。この場合、リモコンの「DVD」キーを押してください。

スタンバイモード



スタンバイモードと動作状態の切り替え

リモコンによる操作

- リモコンの  ボタンを押します。

フロントパネルによる操作

- フロントパネルの  ボタンを押し続けます。

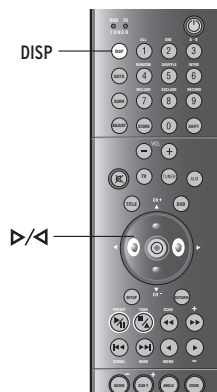
注：
フロントパネルのどのボタンを押してもスタンバイモードから立ち上がります。

映像出力

UNIDISK SC のセットアップにあたって、まず本機がご使用のディスプレイ装置に合ったタイプの映像信号を出力していることを確認してください。

変更の方法：

- リモコンの「DISP」(ディスプレイ) を押し続けます。現在の映像出力タイプが前面パネルに表示されます。◀ か ▶ を押して映像フォーマットを変更します。選択可能なオプションは、PAL、NTSC、Native (PAL と NTSC の両方の信号に対応したディスプレイ装置用) の3種類です。



- リモコンの「DISP」を押します。現在の映像スキャンモードが前面パネルに表示されます。◀ か ▶ を押して映像スキャンモードを変更します。選択可能なオプションは、INTERLACED (インターレース信号に対応したディスプレイ装置用) と、PROGRESSIVE (プログレッシブ信号に対応したディスプレイ装置用) の2種類です。お使いのディスプレイ装置が両方のスキャンモードに対応している場合は、高画質な PROGRESSIVE を選択します。

前面パネルの表示は数秒後に元の表示に戻ります。

設定メニュー

設定メニューについて

オンスクリーン設定メニューを使って、お使いの AV システムのディスプレイ装置やスピーカーなどに適した状態に本機を設定します。この初期設定は、本機に接続する機器を本体に記憶させる重要な作業です。時間をかけて正しい設定を行ってください。

設定メニューには7項目があります。

General Setup (一般設定)

本機器の音声と映像の設定一般。

Speaker Setup (スピーカー設定)

接続するスピーカーの個数、大きさ、位置を設定します。

Progressive Scan Setup (プログレッシブスキャン設定)

本機器のプログレッシブ出力を設定 (使用している場合)。

HDMI Setup (HDMI 設定)

本機器のHDMI出力を設定 (使用している場合)。

Video Source Setup (映像ソース設定)

本機器の音声出力を設定。

Audio Setup (音声設定)

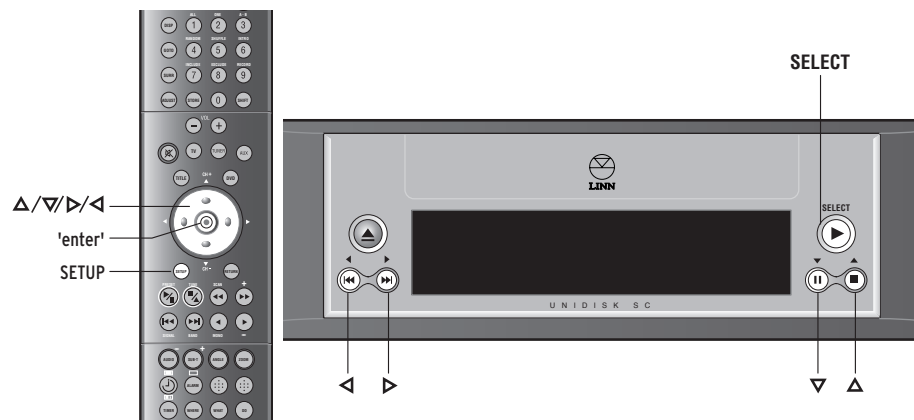
本機器の音声出力を設定。

Preferences (お好み設定)

字幕や視聴制限などの付加機能を設定 (ディスクの再生中は、この項目のメニューにはアクセスできません)。

注記

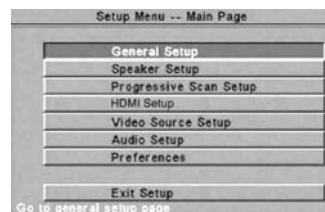
DVD オーディオディスク再生中以外は、ディスク再生中でも設定メニューへのアクセスが可能です (Preference メニューを除く。上記参照)。



設定メニューを呼び出す

ディスプレイ装置の電源を入れ、UNIDISK SC の映像出力信号を表示させます。

- リモコンの「**SETUP**」を押します。画面に「Setup Menu」(設定メニュー)のメインページが出ます。

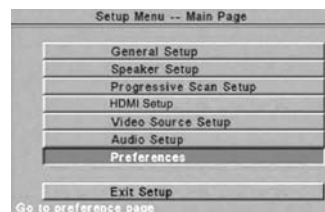


設定項目を選択決定する

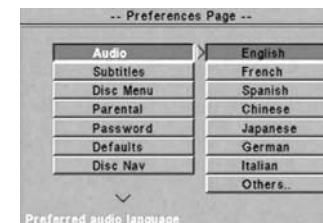
- 前面パネルまたはリモコンの $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ キーでカーソルを移動します。
- リモコンの「**enter**」または前面パネルの「**SELECT**」を押して選択します。

例：
DVD ビデオメニューの言語を変更するには、以下のように行います。

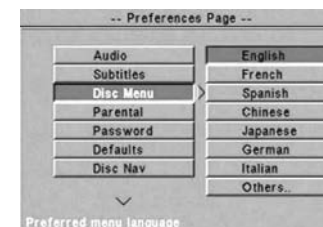
- 「**SETUP MENU**」で、前面パネルあるいはリモコンの $\blacktriangledown$ キーで「**Preferences**」(お好み設定)へ移動します。



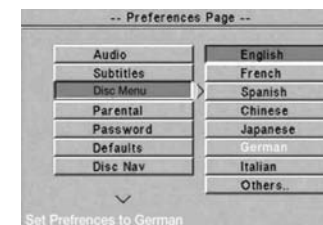
- 前面パネルの「**enter**」またはリモコンの「**SELECT**」を押します。Preference メニュー画面が表示されます。



- $\blacktriangledown$ キーで「**Disc Menu**」(ディスクメニュー)を選びます。言語一覧が表示されます。

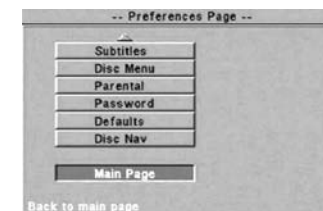


- $\blacktriangleright$ キーでカーソルを言語一覧へ移動します。
- $\blacktriangledown$ キーでカーソルを設定したい言語に移動します。「**enter**」か「**SELECT**」を押します。



設定メニューから出る

- リモコンの「**SETUP**」を押します。
または
- リモコンか前面パネルの $\blacktriangledown$ キーでメニューの一番下にある「**Main Page**」(メインページ)を選びます。
- 「**enter**」押し、「**Setup Menu**」(セットアップメニュー)の「**Main Page**」(メインページ)へ戻ります。
- $\blacktriangledown$ キーで「**Exit Setup**」(セットアップメニューから出る)へ移動します。「**enter**」を押します。



セットアップメニューの一部の選択項目は、選択を確定した時点で変更が有効になります。一部の選択項目は、セットアップメニューから出た時点で変更が有効になります。

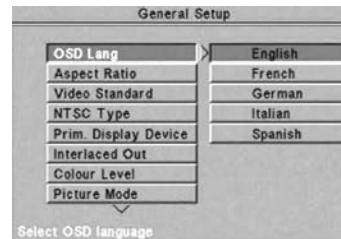
General Setup (一般設定)

OSD Language

(on-screen display language = 画面表示言語)

デフォルト設定 : English

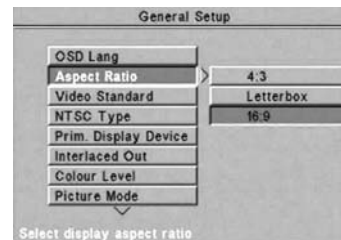
画面に表示される情報やセットアップメニューに使われる言語を選択します。



Aspect Ratio (アスペクト比)

デフォルト設定 : 16:9

16:9 4:3、Letterbox (レターボックス)、16:9の中から、ご使用のディスプレイ装置に合わせて画面サイズを選びます。

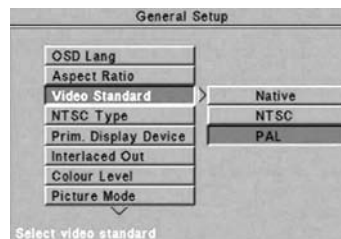


Video Standard (映像規格)

リモコンの[DISP]キーを使ってすでに映像信号規格を設定済みの場合は、この項目はスキップしてください(この項の始めにある「映像出力」セクションを参照)。

デフォルト設定 : Native

お使いのディスプレイ装置が対応する映像信号規格を選びます。NTSC と PAL の両方に対応する場合は「Native」(ネイティブ) に設定します。



注記

映像信号規格で「Native」(ネイティブ) を選びDVDを再生すると画面がちらつくことがあります。これは本機が映像信号を切り替える際生じるものです。

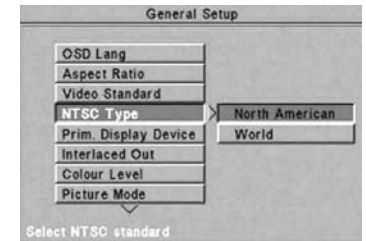
お使いのディスプレイ装置が単一の映像信号規格のみに対応していて、PAL から NTSC へ、または NTSC から PAL への変換が行われた場合、他の信号規格で記録された DVD ビデオまたは DVD オーディオの再生で画質の劣化が感じられることがあります。

NTSC Type (NTSC タイプ)

NTSC 信号規格が標準となっている各国用。

デフォルト設定 : North American (北米)

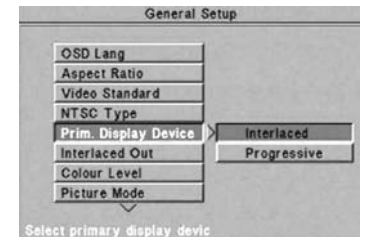
米国、カナダでは、「North American」にセット。
米国、カナダ以外では、「World」にセット。



Prim. Display Device (主ディスプレイ装置)

デフォルト設定 : Interlaced (インターレース)

本機はプログレッシブ映像信号の処理で生じる映像遅延に対応して、映像信号と音声信号が同時に出力されるように補正します。このオプションは、お使いのAVシステムの主ディスプレイ装置のスクリーンモードを設定します。



重要事項 — HDMI

UNIDISK SC の HDMI を利用する場合は、HDMI または DVI/HDCP 対応のディスプレイが必要です。HDMI または DVI/HDCP 非対応の DVI 入力端子では映像出力 (再生) をいたしませんのでお気をつけください。

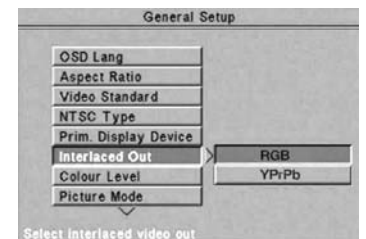
重要 — HDMI 設定を選択している場合、UNIDISK SC のデジタル音声出力 (SPDIF、TOSLINK) はステレオのみとなります。つまり、これらの出力から、デジタルサラウンドサウンドを得ることはできません。アナログ出力に影響はありません。

これらの出力をデジタルサラウンドサウンドに戻すには、HDMI 設定画面で (12 ページ参照) HDMI 音声 を OFF に設定します。

Interlaced Out (インターレース出力) (SCART バージョンのみ)

デフォルト設定 : RGB

お使いのディスプレイ装置が受け付ける映像出力信号を選択します。お使いのディスプレイ装置が RGB と YPrPb 信号の両方に対応している場合は、通常より画質の高い YPrPb に設定してください。



Colour Level (カラーレベル)

(フォノバージョンのYPrPb出力のみ)

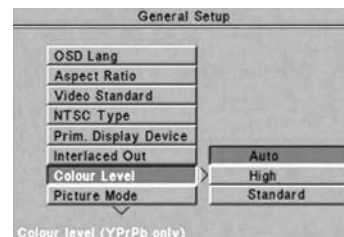
デフォルト設定: **Standard**

カラーレベルは、ディスプレイ装置に送信するカラー情報の量を調整するオプションです。

再生するディスクの映像規格に応じて本機に自動的に決定させるのであれば、「**Auto**」に設定してください。

ディスプレイ装置が1V peak-to-peak入力に対応する場合には、「**High**」に設定します。

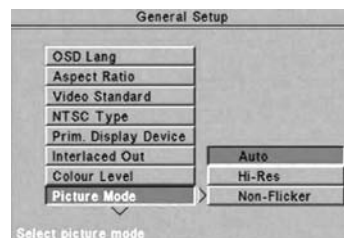
ディスプレイ装置が0.7V peak-to-peak入力に対応する場合には、「**Standard**」に設定します。



Picture Mode (ピクチャーモード)

デフォルト設定: **Auto (自動)**

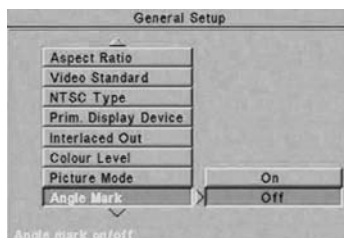
映画フィルムのショットをデジタルフォーマットに切り替えてDVDに保存するプロセスが原因で、ディスプレイ装置にちらつきが出ることがあります。これを防ぐために、本機では「**High Res (高解像)**」あるいは「**Non-Flicker (ちらつき防止)**」を選択することができます。各DVDビデオによってどちらが適当であるか異なるため、ディスクごとに最適な方法を自動的に判断する「**Auto**」設定をお使いになることを推奨いたします。



Angle Mark (アングルマーク)

デフォルト設定: **Off**

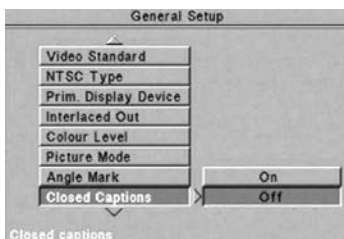
「**On**」にすれば、DVD再生中にマルチアングル収録部分がくると、画面の  シンボルで知らせます。となりにはカメラアングル数が表示されます。



Closed Captions (クローズドキャプション=CC)

デフォルト設定: **Off**

「**On**」にすると、DVDに備えられたクローズドキャプション(視聴覚障害者用など)が表示されます。

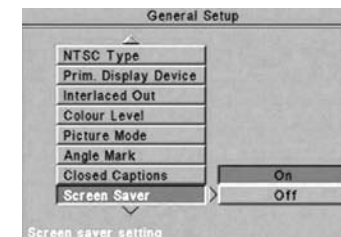


Screen Saver (スクリーンセーバー)

デフォルト設定: **On**

静止画を長い時間表示し続けているとスクリーンに焼き付いてしまう恐れがあります。この設定を**オン**にすると3分後にスクリーンセーバー(ブランク画面)に切り替わります。

スクリーンセーバーを解除するには「**enter**」を押します。



Speaker Setup (スピーカー設定)

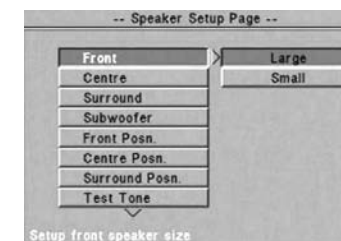
Front (フロント)

デフォルト設定: **Large**

お使いのシステムにもっとも適したスピーカー設定を選択します。

大型のフロントスピーカー(フルレンジの周波数特性)を使用している場合 — 「**Large**」に設定します。

小型のフロントスピーカー(充分な低音再生が難しい)を使用している場合 — 「**Small**」に設定します。



注記

フロントスピーカーの設定によって、他のスピーカーの設定で選択できる項目が変わります。

Centre (センター)

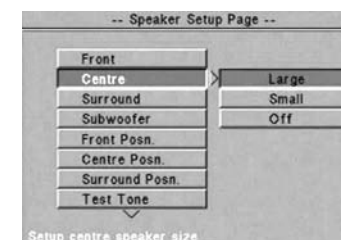
デフォルト設定: **Large**

お使いのシステムにもっとも適したスピーカー設定を選択します。

大型のセンタースピーカー(フルレンジの周波数特性)を使用している場合 — 「**Large**」に設定します。

小型のセンタースピーカー(充分な低音再生が難しい)を使用している場合 — 「**Small**」に設定します。

センタースピーカーを使用していない場合 — 「**Off**」に設定します。



Surround (サラウンド)

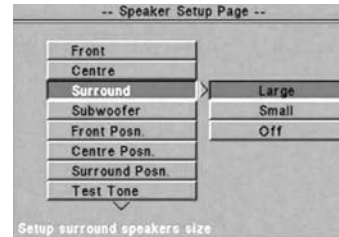
デフォルト設定 : Large

お使いのシステムにもっとも適したスピーカー設定を選択します。

大型のサラウンドスピーカー (フルレンジの周波数特性) を使用している場合 — 「Large」に設定します。

小型のサラウンドスピーカー (充分な低音再生が難しい) を使用している場合 — 「Small」に設定します。

サラウンドスピーカーを使用していない場合 — 「Off」に設定します。



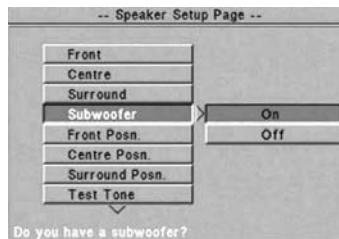
Subwoofer (サブウーファー)

デフォルト設定 : Off

サブウーファーを接続している場合 — 「On」に設定します。

サブウーファーを接続していない場合 — 「Off」に設定します。

次のメニューでスピーカーまでの距離を設定します。この設定にもとづいて、本機は各スピーカーに対して適切な遅延処理を行います。これにより、リスニングポジションに向けて、すべてのスピーカーから同時に音が到達するようになります。



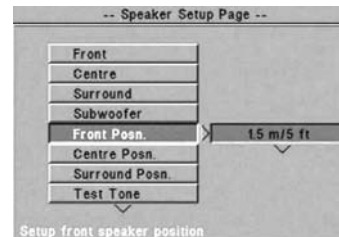
Front Posn (フロントポジション)

デフォルト設定 : 1.5 m / 5 ft

リスニングポジションからフロントスピーカーまでのおおよその距離を測ります。

1.5 m / 5 ft オプションを選び、次にリモコンか前面パネルの▼キーを使用して距離を選択します (最長 9.2 m / 30 ft)。

適切な距離となる数値を選び、リモコンか前面パネルの「enter」を押します。



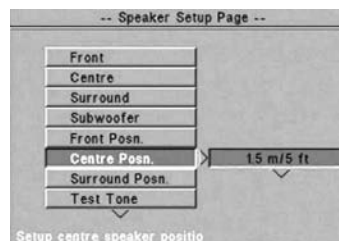
Centre Posn (センターポジション)

デフォルト設定 : 1.5 m / 5 ft

リスニングポジションからセンタースピーカーまでのおおよその距離を測ります。

1.5 m / 5 ft オプションを選び、次にリモコンか前面パネルの▼キーを使用して距離を選択します (最長 9.2 m / 30 ft)。

適切な距離となる数値を選び、リモコンか前面パネルの「enter」を押します。



Surround Posn (サラウンドポジション)

デフォルト設定 : 1.5 m / 5 ft

リスニングポジションからサラウンドスピーカーまでのおおよその距離を測ります。

1.5 m / 5 ft オプションを選びます。リモコンか前面パネルの▼キーを使用して距離を選択します (最長 9.2 m / 30 ft)。

適切な距離となる数値を選び、リモコンか前面パネルの「enter」を押します。



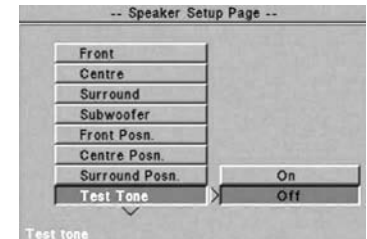
注記

サブウーファーのポジションを設定する必要はありません。

Test Tone (テストトーン)

本機から最高の音を引き出すには、各スピーカーからの音量レベルがリスニングポジションにおいて同一になるように調整する必要があります。本機のテストトーン機能を使用してスピーカー音量を微調整してください。

このオプションを「On」にすると、サブウーファーを除くすべてのスピーカーに、フロント左を開始点として時計回りにテストトーンが送られます。



スピーカー音量の微調整 :

- テストトーンを「On」にします。UNIDISK SCの前面パネルにテストトーンが表示されます。
- 調整したいスピーカーまでテストトーンが順に進むのを待ちます (ディスプレイ装置と前面パネルに、テストトーンを発しているスピーカーが表示されます)。
- 必要に応じて、リモコンの「VOL - / +」を繰り返し押すか、押し続けて音量を調整します。** 音量の微調整範囲は0を中心に-10から+10です (0.5刻み)。

「VOL - / +」キーを離して数秒すると、テストトーンは時計方向の次のスピーカーに移動します。

スピーカーボリューム微調整の終了

- テストトーンを「Off」にします。

* サブウーファーの調整 — 「プリアンプ」の「サブウーファーの微調整」の項を参照してください。

** 調整は聴感によって行いますが、音圧レベルメーターを使用することもできます。

Progressive Scan Setup (プログレッシブスキャン設定)

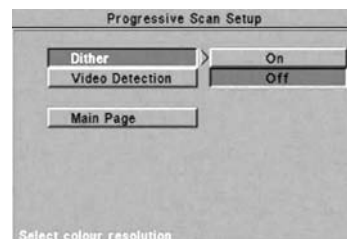
次の2つの項目は、本機のコンポーネント出力 (SCARTバージョンのTV SCART出力、フォノバージョンのYPrPb出力) が、インターレース信号かプログレッシブ信号を出力している場合の設定です。

Dither (ディザー)

デフォルト設定 : Off

カラー深度に限界があるLCDパネルなどのディスプレイ機器では、色合いが自然な階調を成さずに色の帯になって現れることがあります。

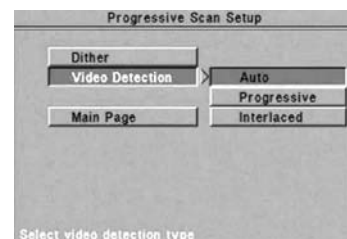
「On」に設定すると、この現象を軽減します。



Video Detection (映像検出)

デフォルト設定 : Auto

元の映像ソースの収録方法に合わせて設定します。ほとんどの映画のように映像ソースがフィルムに収録されている場合は「**Progressive**」に設定します。ほとんどのTV番組のように映像ソースがビデオテープに収録されている場合は「**Interlaced**」とします。再生するディスクに収められた情報をもとに自動的に選択させたい場合は、「**Auto**」に設定してください。



注記

「Auto」に設定したときに、画像がちらつくことがあります。そうした場合には、他の設定のいずれかで、画像の状態がよいほうを選んでください。

HDMI 設定

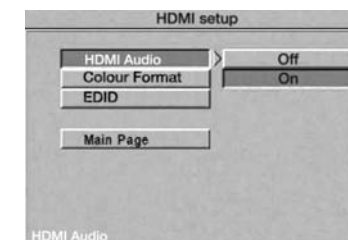
注記—このメニューはGeneral Setup (一般設定) でHDMIを通常使用するディスプレイ装置として選択している場合にのみ有効です (9ページ参照)。

HDMI 音声

デフォルト設定 : ON

オーディオ再生にディスプレイ装置の内蔵スピーカーを使用する場合、**ON**に設定します。

この設定により、ステレオデジタル信号 (SPDIF) がHDMIコネクタ経由でディスプレイ装置に出力されます。ソースがマルチチャンネルの場合、HDMI端子、SPDIF端子にステレオミックスダウン信号が出力されます。



重要 — **ON**に設定している場合、UNIDISK SCのデジタル音声出力 (Sテレオのみとなります。つまり、これらの出力から、デジタルサラウンドサウント信号を得ることはできません。アナログ出力には影響ありません。

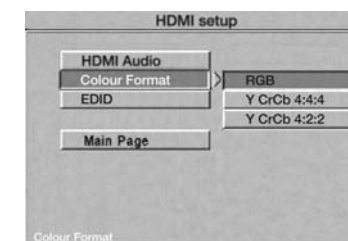
UNIDISK SCのデジタル出力を他の装置でサラウンドサウンドを得るために使用する場合、**OFF**に設定します。

カラーフォーマット

デフォルト設定 : RGB

お使いのディスプレイ装置に最適のオプション、つまり最高の画質が得られるオプションを選択します。ディスプレイ装置によってカラーフォーマット信号の処理の仕方が異なるため、ある装置で最適なものがある装置でも最適であるとは限りません。ディスプレイ装置のマニュアルを参照するか、またはオプションを一つずつ試して最良のものを選びます。

注記 — ディスプレイ装置のEDIDから読み出すデータによっては、使用できないオプションもあります (下記参照)。



EDID

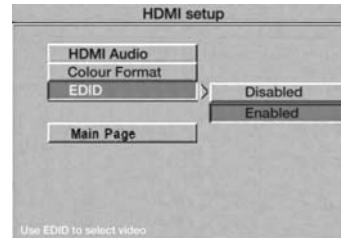
(Extended Display Identification Data)

デフォルト設定 : **Enabled**

ディスプレイ装置がサポートしている画像解像度を識別します。ディスプレイ装置から送られるデータによって、UNIDISK SCは装置がサポートする最適の解像度で自動的に出力を行います。

しかしディスプレイ装置によっては、誤ったデータを送ったり、またはデータを送らないものもあり、そのために画像に問題が生じることがあります。その場合、このオプションを **Disabled** に設定します

Disabled に設定した場合、解像度は General Setup (一般設定) メニューの Video Standard (映像規格) によって、決まります。



Video Source Setup (映像ソース設定)

デフォルト設定 : **Off**

このメニューでは、外部入力 **DIG 1 ~ 4 Video**、**AUX 1 ~ 2 Video**、**MAIN Video** (KNEKT システムで使用) を出力する、本機の映像出力を選択します。

- 外部入力が音声のみ、または外部入力が映像信号であっても本機を経由させない場合は「**Off**」に設定します。
- 外部入力を選択したときに内部映像信号 (リンの画面) を本機から出力させる場合は「**Internal**」に設定します。
- 外部入力の映像信号を本機から出力させる場合は「**Pass-through**」に設定します (パススルーを有効にするには、入力と出力の端子が同じでなければなりません)。



例 :

お使いの映像機器の S 映像出力を本機の S-VIDEO IN に接続し、その映像機器のデジタルオプティカル出力を本機の DIGITAL IN 3 に接続した場合、DIG 3 Video を「**Pass-through**」に設定します。

Audio Setup (音声設定)

SPDIF Out (SPDIF 出力) (デジタル出力のみ)

デフォルト設定 : Off

本機のデジタル音声出力をご使用にならない場合は「Off」に設定します。

本機のデジタル出力のいずれかがリンシステムコントローラー、その他外部音声デコーダー、その他の機器に接続されていたら、「Raw」とします。

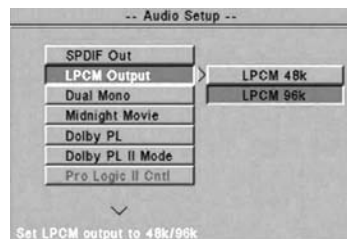
外部デジタルソース (DAT プレイヤーなど) への録音を行う場合は、「LtRt PCM」に設定します。



LPCM Out (LPCM 出力) (デジタル出力のみ)

デフォルト設定 : LPCM 96K

本機のデジタル出力のいずれかがリンKISTO システムコントローラーやその他サンプリングレート 96kHz に対応するプロセッサに接続されていたら、「LPCM 96K」とします。外部プロセッサがサンプリングレート 96kHz に対応しない場合は、「LPCM 48K」にしてください。



注記

「LPCM 96K」に設定しても 48kHz しか出力しないディスクもあります。

96kHz のサンプリングレートで録音された CSS コピープロテクト付きの DVD ビデオディスクは、デジタル出力の音声出力は常に 48kHz となります。CSS コピープロテクトなしの DVD ビデオディスクのサンプリングレートは最高 96kHz です。

SACD や DVD オーディオディスクからの音声信号はアナログ出力のみとなります。これらのディスク形式については、デジタル出力はありません。

Dual Mono (デュアルモノ) (アナログ出力とデジタル出力)

左右のチャンネルに異なる音声トラックを備えた DVD ビデオ用のオプションです。

デフォルト設定 : Stereo

左チャンネルだけを聴くとき「L-Mono」とします。

右チャンネルだけを聴くとき「R-Mono」とします。

分離した左右のチャンネルを合わせて聴くとき「Mix-Mono」とします。

通常は「Stereo」に設定します (ほとんどのディスクに適用)。



Midnight Movie (深夜映画モード)

(アナログ出力とデジタル出力)

デフォルト設定 : Off

DVD ビデオでドルビーデジタル音声信号を圧縮し音量を落とす機能です。爆発シーンなどで瞬間的に増す音量を抑えます。

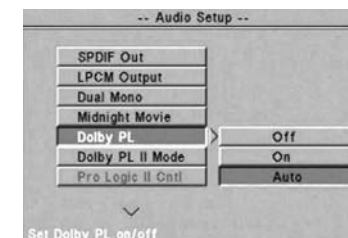
信号を圧縮して音量を落としたいときは「On」に設定します。



Dolby PL (ドルビープロロジック) (アナログ出力のみ)

デフォルト設定 : Auto

ドルビープロロジックは、エンコーディングによってステレオ信号を 2 チャンネル以上のオーディオ信号に拡張する機能です。ソースによって設定を選択してください。



DVD ビデオ

Off — ディスクのステレオトラックをステレオとして再生します。

On — ディスクのステレオトラックを、ステレオか、最大 5 チャンネルにデコードして再生します (お使いのスピーカーの個数と選択されている音声モードによって変わります。「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項を参照してください)。

Auto — 機器がディスクに記録されているコードを読み取り、プロロジックを自動的にオンまたはオフにします。

その他のステレオソース (CD や AUX デジタルステレオまたは AUX アナログステレオソース)

Off — ステレオソースをステレオとして再生します。

On または Auto — ディスクのステレオトラックを、ステレオか、最大 5 チャンネルにデコードして再生します (音声ストリームが対応している場合で、お使いのスピーカーの個数と選択されている音声モードによって変わります。「サラウンドサウンドとオーディオモード」の項を参照してください)。

Dolby PL II Mode (ドルビープロロジックIIモード)

(アナログ出力のみ)

デフォルト設定 : **Movie (映画)**

このメニューは、フロントスピーカーに加えて、センタースピーカーあるいはサラウンドスピーカー、またはその両方を本機に接続した場合に使用します。

ドルビープロロジックIIは、オーディオCD、ステレオチューナー信号、その他の映像機器の音声信号などの内部または外部入力の2チャンネルソースから、5チャンネル出力を生成します。最先端のサラウンドデコーダーが、新しい音を追加することなく、オリジナルの録音から空間的な要素を抽出します。UNIDISK SCのプロロジックIIには4種類の動作モードがあります。

Dolby PL (ドルビープロロジック)

オリジナルのドルビープロロジックによってサラウンド処理を行います。「Dolby PL」設定はソース音源の音質があまり良くない場合に適しています (古いビデオテープなど)。

Music (音楽)

名称のとおり音楽に最適なモードです。「Music」モードを選択した場合は、Dolby PL II Cntl メニューからドルビープロロジックIIのパラメータが設定可能です (下記参照)。

Movie (映画)

DVD ビデオの再生に最適なモードです。

Matrix (マトリックス)

モノラル信号 (AM ラジオなど) に広がり感を与えます。



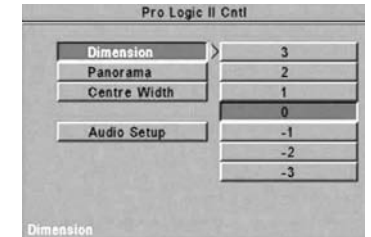
Dolby PL II Cntl (ドルビープロロジックIIコントロール)

Dolby PL II Mode メニューで「Music」を選択すると、Pro Logic II Cntl メニューが有効になります。Dolby PL II Cntl を選択して「enter」を押すと、Dolby PL II Cntl の最初の画面が現れます。

Dimension (広がり)

デフォルト設定 : **0**

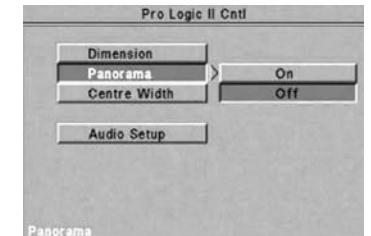
「Dimension」コントロールはフロントスピーカーとサラウンドスピーカー間のバランスを調整します。正の値を設定するとサウンドはフロント側に寄り、負の値を設定するとサウンドはサラウンド側に寄ります。録音が極度に空間的な場合、またはサラウンドスピーカーからの再生音量が大きいつ感じられる場合は、フロント側に設定してバランスを改善してください。ステレオ録音でサラウンド側を強くすると包み込まれる感じが得られます。



Panorama (パノラマ)

デフォルト設定 : **Off**

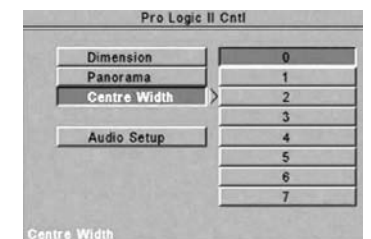
Panorama を「On」に設定すると、フロント左と右スピーカーの音声信号をサラウンドスピーカーの左右にも拡張して出力します。これにより、回り込むようなサウンド効果が得られます。



Centre Width (センター幅)

デフォルト設定 : **0**

センタースピーカーと左右のフロントスピーカー間の音声信号を調整します。
0に設定すると、センターチャンネルの音声信号がセンタースピーカーに送られます。
1から6の範囲に設定すると、数値に応じて、センターチャンネルの音声信号が左右のフロントスピーカーにも送られます。
7に設定すると、センターチャンネルの音声信号は、フロント左とフロント右スピーカーに均等に与えられます。



Dolby PL II Cntl を終了するには Audio Setup を選択し「enter」を押します。

Preferences (お好み設定)

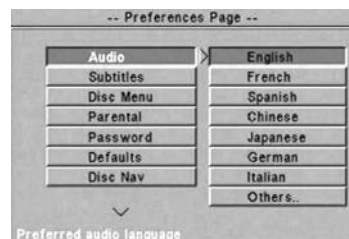
ディスクの再生中は、この項目のカテゴリーにはアクセスできません。

音声*

デフォルト設定: **English**

聞きたい言語を設定します。

表示されている以外の言語を選ぶときは、カーソルを「Others」へ移動し「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4桁のコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.ukでご覧ください。

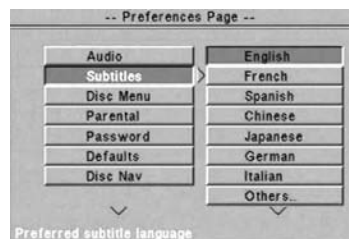


字幕*

デフォルト設定: **English**

お好みの字幕言語を設定します。

表示されている以外の言語を選ぶときは、カーソルを「Others」へ移動し「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4桁のコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.ukでご覧ください。

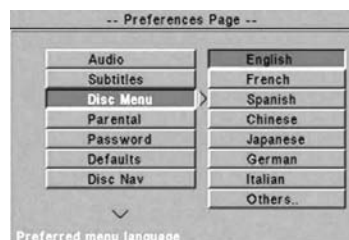


Disc Menu* (ディスクメニュー)

デフォルト設定: **English**

お好みのDVDメニュー言語を設定します。この項目は複数のディスクメニュー言語を収録したDVDの場合にのみ有効です。

表示されている以外の言語を選ぶときは、カーソルを「Others」へ移動し「enter」を押します。リモコンの数字キーを使って4桁のコードを入力してください。言語コード表は、www.linn.co.ukでご覧ください。



* 選んだ言語に関わらず、ご覧になっているDVDに収録された言語が再生されます。

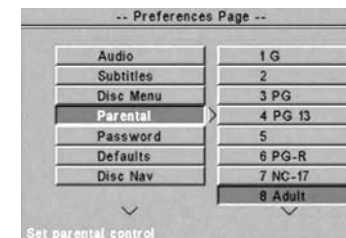
Parental (視聴制限)

このメニューは、特定のDVDを入れたとき鑑賞できないように年齢制限を行う設定をします。

デフォルト設定: **Adult**

視聴制限を設定・変更する

- カーソルを年齢制限レベルに移動し、「enter」を押します。暗証番号の証明画面が表示されます。
- リモコンの数字キーで4ケタの暗証番号を入力します (工場出荷時は3308です)。
- 指示に従って「enter」を押します。
- 設定画面から出ると、変更が有効になります。



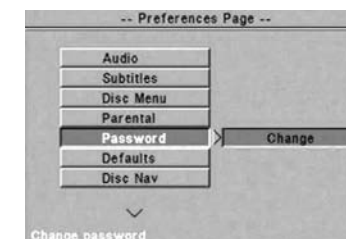
*DVDに正しい情報が入っていないと、視聴制限は機能しません。

Password (パスワード)

デフォルト設定: **3308**

4ケタの暗証番号を設定・変更する

- 「Change」を選択し「enter」を押します。暗証番号の変更画面が表示されます。
- リモコンの数字キーでこれまでの4ケタの暗証番号を入力します。
- 新しい暗証番号を入力し、さらにそれを確認します。
- 指示に従って「enter」を押します。これで新しい暗証番号が有効になります。



Defaults (デフォルト)

設定メニューを工場出荷時の状態に戻すときは、「Reset」にカーソルを移動して「enter」を押します。

Disc Nav (ディスクナビゲーション)

MP3、JPEG、MPEG-2 ファイルが格納されたデータディスクに対するメニューです。

デフォルト設定: **With Menu**

「ディスクの再生」の項中、「その他のファイル形式」を参照してください。

ディスクの再生

ここではUNIDISK SCでディスクを再生する方法とさまざまな機能を解説します。

はじめに

1. ディスプレイ装置のスイッチを入れ、本機器の映像出力信号に合わせます。
2. ディスプレイ装置の音声をミュート (消音) にします。
3. リモコンの「**DVD**」を押します。リモコンがDisc (ディスク) モードに切り替わります。本機を制御するときは、リモコンはDisc (ディスク) モードになっていなければなりません。

* CDあるいはSuper Audio CDを聴く場合はディスプレイ装置は必要ありません。

注記

ディスク形式の働きに違いがあるため、ディスクによっては、ここで解説する機能が使えない場合もあります。

リモコンが前面パネルからコマンドを入力すると、ディスプレイ装置に  シンボルが表示されることがあります。これは、その時点ではコマンド実行が不可能であること、あるいは再生中のタイトル/チャプターが終わってから入力してください、ということを意味します。

前面パネルのシンボル

前面パネルに表示されるシンボルの意味

-  再生
-  一時停止
-  停止
-  次のチャプター/トラックへスキップする
-  前のチャプター/トラックへスキップする
-  早送り (サーチ)
-  早戻し (逆サーチ)
-  ゆっくりと早送り (スローサーチ)
-  ゆっくりと早戻し (スロー逆サーチ)
-  スキャン再生
-  スキャン逆再生
-  スロースキャン再生
-  スロースキャン逆再生
-  繰り返し (リピート)

ディスク情報の表示

前面パネルおよびディスプレイ装置の画面には、挿入されているディスク情報が表示されます。

リモコンの「**DISP**」を押すたびに、次の順序で情報が表示されます。

チャプター/トラックの経過時間
チャプター/トラックの残り時間
タイトル/ディスクの経過時間
タイトル/ディスクの残り時間
トラック名 (SACD のみ)

時間表示を消すには、表示されなくなるまでリモコンの「**DISP**」を繰り返し押します。

追加的なディスク情報が前面パネルの時間表示の左右に表示されます。

DVD ビデオ DVD オーディオ	
時間表示の左	再生中のタイトル/グループ番号
時間表示の右	再生中のチャプター/トラック番号
CD SACD	
時間表示の左	全体のトラック数
時間表示の右	現在のトラック番号

Super Audio CD の注記

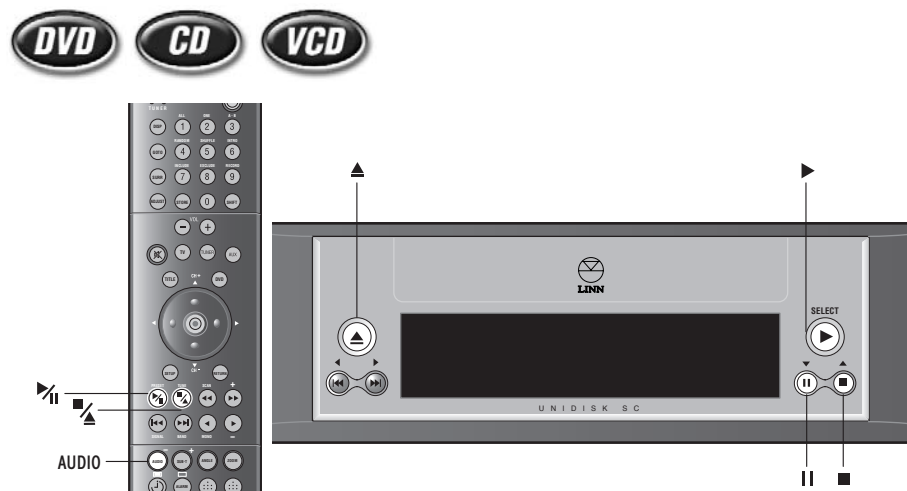
SACD の場合、ディスプレイ装置にトラック情報が表示されます。情報量はディスクにより異なります。

本項に関連するアイコン

アイコン	意 味
	DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW のための機能です。
	CD、Super Audio CD、CD-R、CD-RW のための機能です。
	ビデオ CD およびスーパー VCD のための機能です。

特定のディスク形式に該当する特色や指示が記載されています。

基本操作



本機がDisc (ディスク) モードになっているかを確認します (詳細はこの項の「はじめに」をご参照ください)。

ディスク再生

- リモコンの キーか前面パネルの キーを押します。
- 再生する面を下にしてディスクを入れます。
- リモコンの キーか前面パネルの キーを押します。

ディスクトレイが閉まり、自動的に再生が始まります。

注記

ディスクトレイを軽く押して閉めることもできます。この場合、CD、DVD ビデオディスク、ビデオ CD、一部の DVD オーディオは自動的に再生が始まります。他のディスクでは再生は始まりません。

DVD ビデオ、DVD オーディオ、VCD、SVCD の場合、ディスプレイ装置の画面にメニューが表示されることもあります (本項の「DVD メニューを使う」をご参照ください)。

ディスク再生面にキズをつけないように気をつけてください。ディスクにキズがあると正しく再生できないことがあります。特に DVD の場合は気をつけてください。

ディスクの再生が始まるまで 15 秒ほどかかることがあります。

ディスクの一時停止 :

- リモコンの キーか前面パネルの キーを押します。
- 再生に戻るには キーか キーをもう一度押します。

再生を停止する

- リモコンの キーか前面パネルの キーを押します。*

ディスクを取り出す

リモコンから -

- ディスクトレイが開くまで キーを押し続けます。
- ディスクを取り出し、 キーを押すかディスクトレイを軽く押します。

前面パネルから -

- キーを押します。
- ディスクを取り出し、 キーを押すかディスクトレイを軽く押します。

注記

ディスクトレイを開けたままにしておいても、2 分後に自動的に閉じます。

*ビデオ CD、あるいはスーパー VCD 再生時 *PBC がオンになっている場合、リモコンあるいはフロントパネルの ボタンを押し続けて下さい (本項の「ビデオ CD / スーパー VCD について」をご参照下さい)。

Super Audio CDの再生

SACDは最大で異なる3つの音声形式を収録することができます。音質のポテンシャルが高い順にSACD マルチ (高品質音声5.1チャンネル)、SACD ステレオ (高品質音声2チャンネル)、CD ステレオ (標準CD 音声2チャンネル) です。

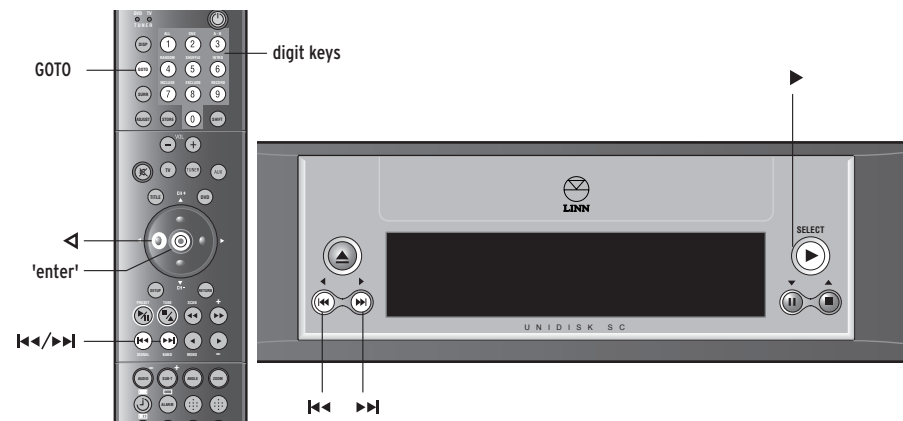
本機にSACDを入れると、前回SACDを再生したときに選択されたフォーマットがデフォルトとして使われます。再生するディスクにそのエリアが存在しないと、その他の最適フォーマットが選ばれます。

聞きたいフォーマットをご自身で選択することができます。

変更の方法：

- ディスクの再生中であれば、リモコンの  キーか前面パネルの  キーを押して再生を停止します。
- リモコンの「AUDIO」を繰り返し押して、前面パネルに再生したいフォーマットを表示させます。
- リモコンの  キーか前面パネルの  キーを押します。前面パネルの  シンボルが点滅し、コマンドの受け入れを知らせます。選択したフォーマットを本機が選択すると、再生がスタートします。

ディスクのタイトル/グループ/チャプター/トラックの頭出し



ダイレクトタイトル/グループ選択



DVD ビデオかDVD オーディオで、メニューページが表示されているとき、またはディスクが再生中のときに、タイトル/グループを直接指定する

- リモコンの「GOTO」を押します。ディスプレイ画面で、再生中のチャプター/タイトルを示す数字がハイライトされます。
- リモコンの  キーを押して現在のタイトル/グループを選択します。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のタイトル/グループ番号を入力します。
- 「enter」を押します。

次/前のチャプター/トラックの選択



ディスクのチャプター/トラックの前後にスキップする

- 前にスキップするには、前面パネルかリモコンの **▶▶** キーを繰り返し押します。
- 後ろにスキップするには、**◀◀** を繰り返し押します。

ダイレクトチャプター/トラック選択



チャプター/トラック再生中、DVDの特定チャプター/トラックにダイレクトに飛ぶ

- リモコンの「**GOTO**」を押します。ディスプレイ画面で、再生中のチャプター/タイトルを示す数字がハイライトされます。
- 数字キーを使って、ジャンプ先のチャプター/タイトル番号を入力します。
- 「**enter**」を押します。

ダイレクトトラック選択



特定のトラックを選ぶ

- リモコンの数字キーでトラック番号を入力します。
- 「**enter**」を押すか、自動的にトラックが選ばれるまで数秒待ちます。

注記

プログラム再生モードで指定しなかったトラック、または除外プログラム再生モードで除外したトラックは選択できません(「プログラムモードで再生する」を参照してください。)

チャプター/トラックの繰り返し再生

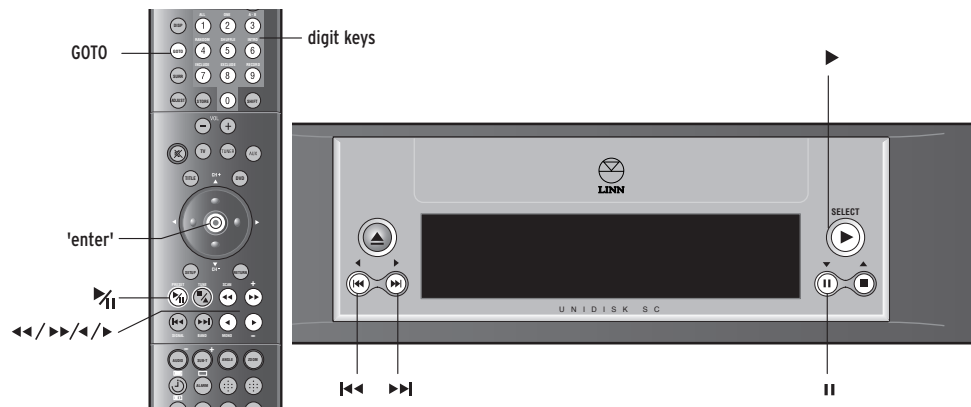


再生中のチャプター/トラックの頭に戻って再生する

- リモコンの「**STORE**」キーか前面パネルの **▶** キーを押します。

トラック/チャプターの頭から再生が始まります。

ディスクの特定ポイントを探す



早送り／早戻し (サーチ)



ディスク再生中に早送り、あるいは早戻しでサーチする

- 早送りでサーチするにはリモコンの ►► か前面パネルの ►► を押し続けます。
- 早戻しでサーチするにはリモコンの ◀◀ か前面パネルの ◀◀ を押し続けます。

スキャン再生／逆再生



ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでスキャンする

- 2倍速再生するにはリモコンの ► を押します。
- を押すごとに4倍速、6倍速、8倍速再生となります。
- 2倍速で逆再生するには ◀ を押します。
- ◀ を押すごとに4倍速、6倍速、8倍速逆再生となります。
- 通常の再生速度に戻すには、リモコンの ►|| キーか、前面パネルの ► キーを押します。

スロー再生／逆再生 (スローサーチ)



ディスク再生中にコマ送りで再生／逆再生する

- リモコンの ►|| キーか前面パネルの || キーを押します。
- スローサーチをするにはリモコンの ►► か前面パネルの ►► を押し続けます。
- 逆方向にスローサーチをするにはリモコンの ◀◀ か前面パネルの ◀◀ を押し続けます。
- 通常の再生速度に戻すには、リモコンの ►|| か、前面パネルの ► を押します。

スロースキャン再生／逆再生



ディスク再生中にスロー再生／逆再生でスキャンする

- リモコンの ►|| を押します。
- 1/2 倍速再生するには ► を押します。
- を押すごとに1/4 倍速、1/6 倍速、1/8 倍速再生になります。
- 1/2 倍速逆再生するには ◀ を押します。
- ◀ を押すごとに1/4 倍速、1/6 倍速、1/8 倍速の逆再生になります。
- ►|| を押すと通常再生になります。

ダイレクトタイム選択



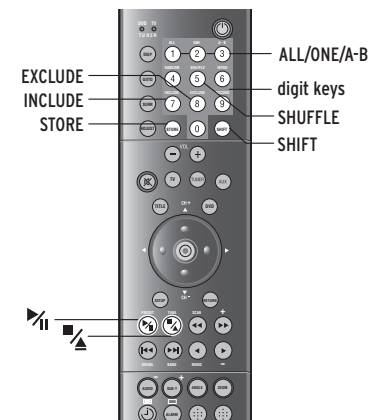
チャプター/タイトルを再生中、DVD の特定ポイントにダイレクトに飛ぶ

- リモコンの「GOTO」を押します。ディスプレイ画面で、再生中のチャプター/タイトルを示す数字がハイライトされます。
- もう一度「GOTO」を押します。
- 数字キーで見たい時間を入力します。時間は6ケタで入力しなければなりません。画面に入力した時間が表示されます。
- 「enter」を押します。

* 例 :

1 時間 15 分 32 秒の個所へ飛ぶには0、1、1、5、3、2と押します。

プログラムモードで再生する



ディスクの繰り返し再生



DVD や CD 全体を繰り返し再生する

- ディスクの再生中にリモコンの「SHIFT」を押し2秒以内に「ALL」(数字キーの1)を押します。前面パネルに「ALL」と表示されます。

タイトル/グループ/ディスクが終わると、自動的に再生を繰り返します。

ディスク繰り返しモードをキャンセルする

- ディスクの再生中に、リモコンの「SHIFT」を押し2秒以内に「ALL」を押します。

チャプター/トラックの繰り返し再生



特定のチャプター/トラックを繰り返し再生する

- 繰り返したいチャプター/トラック再生中にリモコンの「**SHIFT**」を押し、2秒以内に「**ONE**」(数字キーの2)を押します。前面パネルに「**ONE**」と表示されます。

タイトル/グループ/ディスクが終わると、自動的に再生を繰り返します。

チャプター/トラック繰り返しモードをキャンセルする

- ディスクの再生中に、リモコンの「**SHIFT**」を押し2秒以内に「**ONE**」を押します。

セクションの繰り返し再生



ディスクの指定セクションを繰り返し再生する

- 繰り返し再生したい部分の最初で、リモコンの「**SHIFT**」を押し、2秒以内に「**A-B**」(数字キーの3)を短く押します。前面パネルに「**A**」と表示されます。
- 繰り返したい部分の最後まで再生を続けます。
- 「**SHIFT**」を押し2秒以内に「**A-B**」を押します。前面パネルに「**B**」と表示されます。

もう一度「**A-B**」を押すと、指定したセクションが自動的に繰り返し再生されます。

セクション繰り返し再生モードをキャンセルし、通常再生を続ける

- 「**SHIFT**」を押し2秒以内に「**A-B**」を押します。

シャッフルプログラム



ディスクのトラックをランダムに再生するプログラムです。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生順にトラックをシャッフルする

- リモコンの「**SHIFT**」を押し、2秒以内に「**SHUFFLE**」(数字キーの5)を押します。前面パネルに「**SHF**」と表示されます。
- を押すと再生が始まります。

シャッフルモードをキャンセルする

- キーを押します。
- 「**SHIFT**」を押し、2秒以内に「**SHUFFLE**」を押します。

プログラム再生



ディスク中で再生したいトラックだけを選ぶプログラムモードです。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

再生するトラックを選ぶ

1. リモコンの「**SHIFT**」を押し、2秒以内に「**INCLUDE**」(数字キーの7)を押します。前面パネルに「**P01:00**」「**INC**」と表示されます。
2. 数字キーで指定するトラック番号を入力します。
3. 「**STORE**」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択します。
5. を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

保存したプログラムやプログラム再生モードをキャンセルする

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「INCLUDE」を押します。

注記

最大99トラックのプログラム再生ができます。

除外プログラム再生



ディスク中のトラックから再生しないトラックを指定するプログラムモードです。残りのトラックのみが再生されます。

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

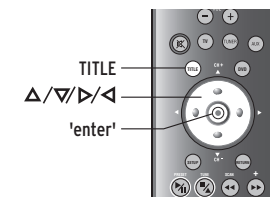
再生しないトラックを選ぶ

1. リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「EXCLUDE」(数字キーの8)を押します。
前面パネルに「P01:00」「EXC」と表示されます。
2. 数字キーで除外するトラック番号を入力します。
3. 「STORE」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、除外したいトラックすべてを選択します。
5. 再生ボタンを押してプログラムを保存し、残りのトラックの再生を開始します。

保存したプログラムや除外プログラム再生モードをキャンセルする

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「EXCLUDE」を押します。

DVD メニューを使う



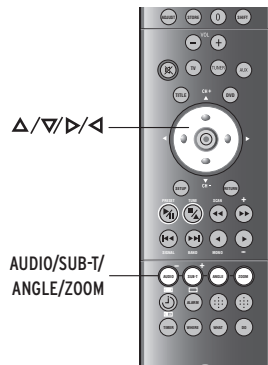
ほとんどのDVDビデオ、DVD オーディオには、再生したい部分を選択したり、機能を変更したりできるメニューがあります。

メニューを見る

- リモコンの「TITLE」*を押します。ディスプレイ装置の画面にメニューが出ます。
- 見たいタイトルや変更したいタイトルを Δ/▽/▷/◁ で選びます。
- 「enter」を押します。

*一部のDVDでは「DVD」キーを押してください。

DVD のその他の再生オプション



言語と収録音声の選択

言語と収録音声を選択する

- リモコンの「AUDIO」を繰り返し押します。

字 幕

字幕の指定または字幕の非表示を選択する

- リモコンの「SUB-T」を繰り返し押し続けます。

アングル選択

DVD の中には、同一シーンを複数のカメラ (視点) で収めたマルチアングル機能を持つディスクがあります。

アングル選択を行う

- リモコンの「ANGLE」を押します。別アングルが選択されます。

さらに「ANGLE」を押すと次のアングルが選択されます。

注記

設定メニューで Angle Mark オプションを「On」に設定しておく、DVD ビデオのマルチアングル部分を再生したときに、ディスプレイ装置の画面に  シンボルが表示されます。

ズームとパン機能



ズーム機能により、映像をさまざまに拡大して見るができます。
パン機能は、拡大した映像内で左右上下に移動することを可能にします。

ディスクを再生中あるいは一時停止中にズーム機能を使う

- リモコンの「ZOOM」を押します。

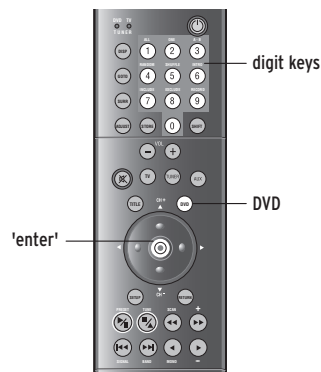
映像が1.5 倍の拡大映像に変わり、画面に「ZOOM 1.5」と表示されます。

「ZOOM」を押すごとに2 倍、3 倍のズーム映像になります。
もう一度「ZOOM」を押すと通常再生に戻ります。

拡大した映像をパンする

- リモコンの △/▽/◀/▶ を繰り返し押すか、あるいは抑え続けます。

ビデオ CD とスーパー VCD について



一部のビデオ CD とスーパー VCD は PBC (プレイバックコントロール) 機能を備えています。PBC は再生機能を拡張します。PBC は好みによりオン/オフいずれにしても行うことができます。PBC がオンであれば、ディスクを一時停止したり、トラックの前後にスキップしたりすることができます。

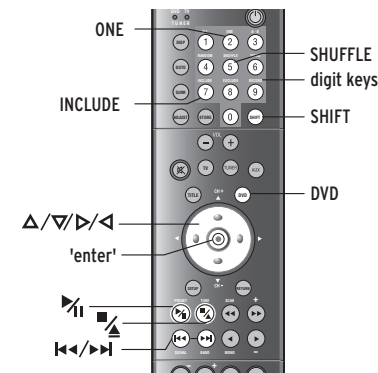
またスーパー VCD では、ディスク内容を示すメニューが画面に現れます。特定のトラックを再生するには、該当する数字キーを押し、「enter」を押します。

PBC がオフになっていれば、このような操作はできないことがあります。

PBC のオン/オフ

- リモコンの DVD を押します。

その他のファイル形式



データディスクに収録された次のようなファイルも再生することができます。MP3、JPEG、MPEG-2

ファイルの再生

- ディスプレイ装置のスイッチを入れ、本機器の映像出力信号に合わせます。
- リモコンが Disc (ディスク) モードになっていない場合は「DVD」を押します。
- データディスクを本機に入れます。数秒後、画面に「Disc Navigation」画面が出て、ディスクのフォルダ構成を表示します。

注記

ディスク内容を見るには、設定メニュー「Preferences」(お好み設定) の「Disc Nav」が「With Menu」に設定されている必要があります (「設定メニュー」の項をご参照ください)。

次の手順に従います。

- セクション/フォルダ/アイテムの間を移動するには、リモコンの $\Delta/\nabla/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を使います。
- フォルダの内容を見るには、フォルダにカーソルを当てて「enter」を押します。
- アイテムを再生するには、アイテムにカーソルを当てて「enter」を押します。
- アイテム中で前後にスキップするときは、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を押します。
- MP や MPEG-2 ファイル再生中にサーチ/逆サーチを行うときは、 $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ を押し続けます。
- 再生/表示を停止するには、 $\blacksquare/\blacktriangle$ を押します。

注記

設定メニューの「Disc Nav」が「No Menu」に設定されている場合、「enter」を押すと、本機器に挿入されたディスクは、最初のフォルダの最初のアイテムから再生し始めます。キーは上記と同様に機能します。その場合でも **▶▶**、**◀◀**、**■▲** キーは上記と同様に機能します。

ファイル繰り返し再生

MP3 ファイルを繰り返し再生する

- ファイル再生中にリモコンの「SHIFT」を押し、2 秒以内に「ONE」（数字キーの2）を押します。前面パネルに「ONE」と表示が出ます。

タイトルが終わると、自動的に再生を繰り返します。

ファイル繰り返し再生をキャンセルする

- 「SHIFT」を押し、2 秒以内に「ONE」を押します。

シャッフルプログラム

フォルダ内のファイル再生順序をシャッフルする

- 最初のファイルの再生中に、リモコンの「SHIFT」を押し、2 秒以内に「SHUFFLE」（数字キーの5）を押します。前面パネルに「SHF」と表示されます。
- **▶||** を押すと再生が始まります。

シャッフルモードをキャンセルする

- 「SHIFT」を押し2 秒以内に「SHUFFLE」を押します。

プログラム再生

フォルダ内で指定したファイルだけを再生するモードです。

再生するファイルを選ぶ

1. リモコンの「SHIFT」を押し2 秒以内に「INCLUDE」（数字キーの7）を押します。前面パネルに「P01:00」「INC」と表示されます。
2. 数字キーを使用してファイル番号を指定します。
3. 「enter」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいファイルすべてを選択します。
5. **▶||** を押してプログラムを保存し、指定したファイルの再生を開始します。

保存したプログラムやプログラム再生モードをキャンセルする

- リモコンの「SHIFT」を押し、2 秒以内に「INCLUDE」を押します。

サラウンドサウンドとオーディオモード



DVD ビデオディスクには、一般に複数のサラウンドサウンドが記録されています。主流となっている形式は、DTS、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルステレオです。

DVD ビデオメニューからサラウンドサウンド形式を選択した場合 (「ディスクの再生」の「DVD メニューを使う」を参照)、オーディオモードからスピーカーの使用個数を指定することができます。

オプションは次の通りです。

オーディオモード	使用するスピーカー
DTS Full*	5.1 チャンネルが必要 (5 個のフルレンジスピーカーと 1 個のサブウーファー)
As Mix	最大 6 個までのスピーカーの使用が可能
3 Stereo	フロントとセンター (サブウーファーも使用可能)
Phantom	フロントとサラウンド (サブウーファーも使用可能)
Stereo	フロントのみ (オーディオ CD のデフォルト)
Stereo + Sub	フロントとサブウーファー

* DTS 形式をサポートしているディスクでのみ選択できます。

オーディオモードを選択する

- リモコンの「SURR (サラウンド)」を繰り返し押します。前面パネルにオーディオモードが表示されます。

注記

CD やその他の入力を聴く場合は「DTS Full」を除く上記のすべてのオーディオモードが選択可能です。

ドルビーデジタルステレオディスクを再生するときは、設定メニューの Dolby PL オプションを「On」に設定してください (「設定メニュー」を参照してください)。

ドルビープロロジックIIをCD再生に使用する

CD の再生時にドルビープロロジックII処理の適用が可能です。

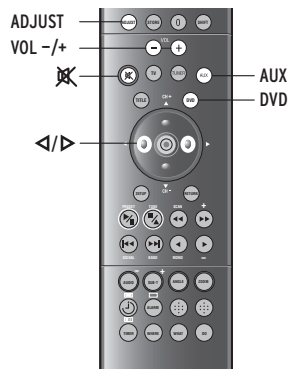
設定方法：

- 前面パネルに「As Mix」と表示されるまで、リモコンの「SURR」キーを押します。
- 「Pro Logic II Mode」が表示されるまで「SURR」キーを押し続けます。
- 「SURR」キーを押してプロロジックオプションを選択します。

ドルビープロロジックIIの詳細は、「設定メニュー」の「ドルビープロロジックIIモード」と「ドルビープロロジックIIコントロール」を参照してください。

プリアンプ

ここでは本機のプリアンプ機能について説明します。



音量とミュート

音量の調整

音量の範囲は0から100までです。

重要

過度の音量は、耳を痛めたり、お使いのオーディオ機器に損傷を与えることがあります。

音量を調整する

- リモコンの「VOL -/+」を繰り返し押します。
- または
- 前面パネルの「◀◀」または「▶▶」を押し続けます。



音量設定メニューから出る

- リモコンの「DVD」を押します。
- または
- 前面パネルの表示が数秒後にディスク表示へ戻るのを待ちます。

ミュートとミュート解除

音声をミュートまたはミュート解除する

- MUTE ボタンを押します。

微調整

センタースピーカーの微調整

AVシステム中でセンタースピーカーがある場合、他のスピーカーに影響を与えずにセンタースピーカーの音量だけを調節したい場合があります。このようなときにセンタースピーカーの微調整を行います。

センタースピーカーの微調整範囲は0を中心に-10から+10です。

センタースピーカーレベルを微調整する

- 前面パネルにセンタースピーカー微調整表示が現れるまでリモコンの「ADJUST」を繰り返し押します。



- 音量を大きくするにはリモコンの「▶」を繰り返し押すか押し続けます。
- 音量を小さくするにはリモコンの「◀」を繰り返し押すか押し続けます。

センタースピーカーレベルの微調整を終了する

- リモコンの「DVD」を押します。
- または
- 前面パネルの表示が数秒後にディスク表示へ変わるのを待ちます。

サブウーファースの微調整

AVシステムにサブウーファーがある場合、他のスピーカーに影響を与えずにサブウーファースの音量だけを調節したい場合があります。このようなときにサブウーファースの微調整を行います。

サブウーファースの微調整範囲は0を中心に-10から+10です。

サブウーファーレベルを微調整する

- 前面パネルにサブウーファー微調整表示が現れるまでリモコンの「ADJUST」を繰り返し押します。



- 音量を大きくするにはリモコンの「▶」を繰り返し押すか押し続けます。
- 音量を小さくするにはリモコンの「◀」を繰り返し押すか押し続けます。

サブウーファーレベルの微調整を終了する

- リモコンの「DVD」を押します。
- または
- 前面パネルの表示が数秒後にディスク表示へ変わるのを待ちます。

バランスの調整

左側スピーカーと右側スピーカーのバランスを調整します。

バランス範囲は、左へ10段階、右へ10段階です。0がニュートラルとなります。

バランスを調整する

- 前面パネルにバランス表示が現れるまでリモコンの「ADJUST」を繰り返し押します。



- バランスを右寄りにするには、リモコンの「▶」を繰り返し押すか押し続けます。
- バランスを左寄りにするには、リモコンの「◀」を繰り返し押すか押し続けます。

バランス調整を終了する

- リモコンの「DVD」を押します。
- または
- 前面パネルの表示が数秒後にディスク表示へ変わるのを待ちます。

外部入力 (AUX) の選択

外部入力を選択する

- お望みの入力機器になるまでリモコンの「AUX」を繰り返し押します。
- または
- 前面パネルの「II」または「■」を押し続けます。

Disc (ディスク) モードに戻る

- リモコンの「DVD」を押します。

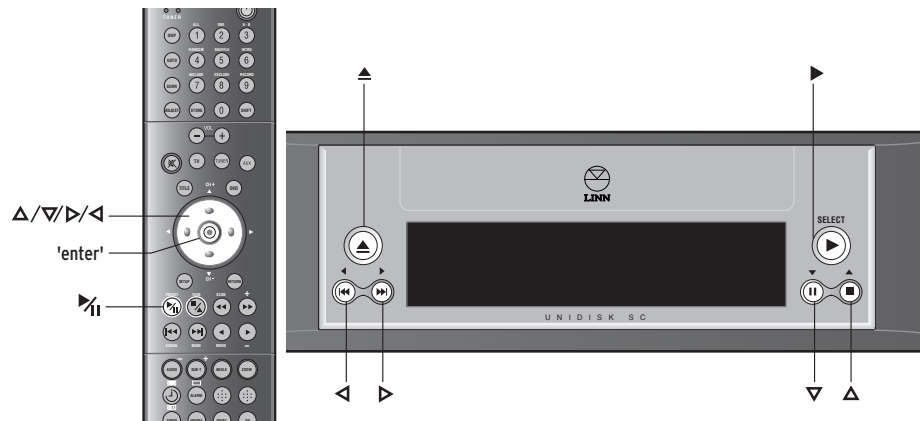
リモコンモード

リモコンのソースキー (DVD、CD、TUNER、TV、AUX) を押すと、ソースが選択され、リモコンも選択したソースに対応したモードに切り替わります。リモコンボタンの機能は選択中のソースによって変わります。リモコンと本機で異なるソースが選択されている場合、リモコンのボタンを押しても本機を操作できないことがあります。この場合、リモコンの「DVD」キーを押してください。

ユーザーオプション

ここでは、ご使用になる方の要望に合わせて UNIDISK SC の機能を設定する方法を解説します。

ユーザーオプション設定の変更



ユーザーオプション設定モードに入る

- Unidisk SC をスタンバイモードにします。
- 前面パネルの ▲ を押し続けて、「User Options」の表示を出します。

ユーザーオプション設定を変える

- 前面パネルかリモコンの ▲ か ▼ を繰り返し押すか、押し続けるかして、変更するユーザーオプションを選びます。
- ▶ か ◀ を繰り返し押すか、押し続けるかして、設定を変更します。

ユーザーオプションを工場出荷時設定値に戻す

- 変更するユーザーオプションを選びます。
- リモコンの「enter」キーか前面パネルの ▲ キーを押します。

設定を保存して終了する

- リモコンの ▶ か前面パネルの ▶ を押します。

ユーザーオプション一覧

本機のユーザーオプションを以下の表に示します。それぞれ、簡単な説明と選択可能なオプションを記載しています。デフォルト設定値は太字で示しています (前面パネル表示は「*」で示しています)。

オプション	内 容	設 定
DISPLAY BRIGHTNESS	前面パネルディスプレイの明るさを調整します。AUTO 設定では、室内の照明レベルに基づいて自動的に輝度が決まります (周囲が明るいほどディスプレイも明るくなります)。	AUTO 2% ~ 100% (non-linear)
SLEEP DISPLAY DELAY	本機のスリープ画面 (3 つの点) が前面パネルに表示されるまでの秒数を設定します。	OFF 0 分 10 秒から 5 分 00 秒 (10 秒単位)
FRONT PANEL IR COMMANDS	「ACCEPTED」に設定すると前面パネルの赤外線レシーバーを介してコマンドを受信します。	ACCEPTED IGNORED
ACC SOCKET MODE	ACC (アクセサリ) ソケットの機能を設定します。「IR」= 赤外線リピーター、「RCU」= KNEKT ルームコントロールユニット	IR RCU
IR OUT MODULATION	出力赤外線の変調周波数を設定します。	36 kHz 10 kHz ~ 2212 kHz
KNEKT MODE	通常の動作は「AUTO」設定です。本機を KNEKT システムで使用し、かつ他の UNIDISK SC、リン CLASSIK Movie、CLASSIC Movie Di、または CLASSIK Music と接続している場合も「AUTO」に設定します。この場合、本機は自動的に Main または Local Room コンポーネントとして構成されます。 「MAIN」か「LOCAL」オプションに設定すると、KNEKT システム内の Main または Local Room コンポーネントとして構成されます。 「SOURCE」に設定すると本機のプリアンプは非作動になります。本機を外部プリアンプがサラウンドサウンドプロセッサに接続して使用してください。	AUTO MAIN LOCAL SOURCE
PASS IR TO REMOTE OUT (このオプションは、KNEKT MODE を「AUTO」、「MAIN」、「LOCAL」のいずれかに設定した場合は利用できません)	「ENABLED」に設定すると、前面パネルに組み込まれているレシーバーが受信した赤外線コマンドを REMOTE OUT 端子からそのまま出力します。赤外線コマンドが非作動でも機能します。	ENABLED DISABLED

ユーザーオプション一覧 (続き)

オプション	内 容	設 定
PASS REMOTE IN TO OUT (このオプションは、KNEKT MODEを「AUTO」、「MAIN」、「LOCAL」のいずれかに設定した場合は利用できません)	「ENABLE」に設定すると、REMOTE IN端子で受信したRC5コマンドをREMOTE OUTからそのまま出力します。	ENABLED DISABLED
AUTO SOURCE SELECTION (このオプションは、KNEKT MODEを「SOURCE」に設定した場合は利用できません)	「ENABLED」に設定すると、リモコンまたは前面パネルのディスクキー(▶、▶▶ など)を押したときに自動的にDisc(ディスク)モードに移ります。	(DISC) ENABLED (DISC) DISABLED
SOURCE MEMORY (このオプションは、KNEKT MODEを「SOURCE」に設定した場合は利用できません)	「ENABLED」に設定すると、本機はそれぞれのソースで最後に使用したプリアンプ設定を使用します。「DISABLED」に設定すると、すべてのソースに対して同じプリアンプ設定を使用します。	ENABLED DISABLED
2 CHANNEL AUDIO	KNEKT、SCART*、TV OUT 端子から出力される本機の2チャンネル出力を切替ます。2チャンネルのみ(PURE STEREO 選択時)、あるいはマルチチャンネル信号をサラウンドエンコードされた状態(SURROUND ENCODED 選択時)を選択します。	PURE STEREO SURROUND ENCODED
2 CHANNEL LFE	KNEKT、SCART*、TV OUT 端子から出力される2チャンネルダウンミックス出力にLFE(映画ソフト等の低域信号)を振り分ける(INCLUDED 設定)、か振り分けない(EXCLUDED 設定)かを選択します。	INCLUDED EXCLUDED
RS232 BAUD RATE	RS-232 制御のボーレートを設定します。	9600 4800 ~ 230400 (8 オプション)
RS232 EVENTS	「ENABLED」にすると、本機の内部ステータス情報をRS-232 に対応した外部機器に送信します。	ENABLED DISABLED
RS232 STARTUP MESSAGE	「ENABLED」にすると、本機の電源が入ったときRS-232 スタートメッセージを出します。	ENABLED DISABLED
CD COMMANDS	UNIDISK SC に外部CDプレーヤーを接続して、リモコンのCDコマンドをUNIDISK SC に無視させたい場合、「IGNORED」に設定します。	ACCEPTED IGNORED

* SCARTは本機のSCARTバージョン、TV OUTはフォノバージョンに対応します。

オプション	内 容	設 定
PLAY COMMAND	付属のリモコン以外のリモコンを使用する場合で、そのリモコンの再生キーと一時停止キーが独立しているとき、「PLAY ONLY」に設定します。	PLAY ONLY PLAY / PAUSE
STOP COMMAND	付属のリモコン以外のリモコンを使用する場合で、そのリモコンの停止キーとトレイ開閉キーが独立しているとき、「STOP ONLY」に設定します。	STOP ONLY STOP / EJECT
REPEAT COMMAND	付属のリモコン以外のリモコンを使用する場合で、そのリモコンには繰り返しキーのみ付いているとき、「REPEAT A-B / ALL」に設定します。(「REPEAT A-B / ALL」に設定した場合、繰り返しキーを押すとREPEAT A-B コマンドとなり、繰り返しキーを押し続けるとREPEAT ALL コマンドになります。)	REPEAT ALL REPEAT A-B / ALL
HI-RES SACD/DVD-A AUDIO	このオプションは、5個のフルレンジスピーカーと1個のサブウーファースを接続したときに使用します。SACDまたはDVDオーディオを再生し、オーディオモードでAs Mixを選択しているとき、「DIRECT」に設定すると本機内部の低音リダイレクト回路がバイパスされます。結果として音質が向上します。	DIRECT NORMAL
SCROLL SACD TEXT	ONCE:SACDのトラック情報が前面パネルに1度だけスクロールされます。 LOOP:SACDのトラック情報が前面パネルに繰り返しスクロールされます。 OFF:SACDのトラック情報は前面パネルに表示されません。	ONCE LOOP OFF

仕様

電源

電源	100 ~ 230 VAC、50 ~ 60 Hz
消費電力	約 40W

形状

重量	4.3 kg
外形寸法	380 (W) x 360 (D) x 80 (H) mm

映像出力

タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
SCART バージョン				
コンポーネント	SCART	RGB + コンポジット 1 Vp-p	75 Ω	—
コンポジット	SCART	1 Vp-p	75 Ω	—
S 映像	4 ピンミニ DIN	Y (luminance) 1 Vp-p C (chrominance) 700 mVp-p	75 Ω	—
フォノバージョン				
コンポーネント	RCA x 3	YPrPb	75 Ω	—
S 映像	4 ピンミニ DIN	Y (luminance) 1 Vp-p C (chrominance) 700 mVp-p	75 Ω	—
コンポジット	RCA x 1	1 Vp-p	75 Ω	—
映像入力				
タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
SCART バージョン				
コンポーネント	SCART	—	—	—
S 映像	4 ピンミニ DIN	—	—	—
フォノバージョン				
コンポーネント	RCA x 3	—	—	—
S 映像	4 ピンミニ DIN	—	—	—
コンポジット	RCA x 1	—	—	—

音声出力

タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
SCART バージョン				
アンバランス	RCA x 6	2 Vrms	300 Ω	プリアンプ出力
ラインレベル	RCA x 2	—	—	固定出力
デジタル	SPDIF x 1	500 mVp-p	75 Ω	—
	TOSLINK x 1	—	—	—
フォノバージョン				
アンバランス	RCA x 6	2 Vrms	300 Ω	プリアンプ出力
ラインレベル	RCA x 2	—	—	固定出力
デジタル	SPDIF x 1	500 mVp-p	75 Ω	—
	TOSLINK x 1	—	—	—
音声入力				
タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
SCART バージョン				
アンバランス	RCA x 4	—	—	ステレオ x 2
アンバランス	TV SCART	—	—	ステレオ
アンバランス	VCR SCART	—	—	ステレオ
デジタル	SPDIF x 2	—	—	—
	TOSLINK x 2	—	—	—
フォノバージョン				
アンバランス	RCA x 4	2 Vrms	300 Ω	—
デジタル	SPDIF x 2	500 mVp-p	75 Ω	—
	TOSLINK x 2	—	—	—
データとコントロール				
タイプ	端子	レベル	インピーダンス	備考
RS-232	RJ11 x 2	—	—	—
リモート入力/出力	RCA x 2	4 mA	—	KNEKT 専用
IR フラッシュャー	3mm ジャック x 2	—	—	—
アクセサリソケット	RJ45 x 1	—	—	—
KNEKT コントロール	RJ45 x 5	—	—	—

保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。
あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます

警 告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

www.linn.co.uk

www.linn.jp

重 要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eaglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777
FAX: +44 (0)141 644 4262
ヘルプライン: 0500 888909
電子メール helpline@linn.co.uk
Web サイト: www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216
USA

電話: +1 (904) 645 5242
FAX: +1 (904) 645 7275
ヘルプライン: 888-671-LINN
電子メール helpline@linninc.com
Web サイト: www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d
D-20097 Hamburg
Deutschland

電話: +49-(0) 40-890 660-0
FAX: +49-(0) 40-890 660-29
電子メール info@linngmbh.de
Web サイト: www.linn.co.uk

リン・ジャパン

101-0021
東京都千代田区外神田6-1-4
神田ノーザンビル4F

電話: +813.5816.6881
FAX: +813.5816.6882
ヘルプライン: 0120 126 173
Web サイト: www.linn.jp

